

# 北海道議會時報

特集 第4回定例道議會

第17卷 第1号

昭和40年 1月



北海道議會事務局

## —— 第 1 号 目 次 ——

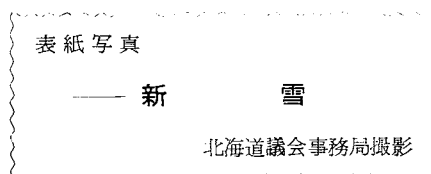
### 議 会 の 動 き

|                 |    |
|-----------------|----|
| 第 4 回定例道議会…………… | 1  |
| 本 会 議……………      | 2  |
| 決 議・意見書……………    | 18 |
| 議会運営委員会……………    | 20 |
| 常 任 委 員 会……………  | 22 |
| 特 別 委 員 会……………  | 29 |
| 総合開発調査特別委員会     |    |
| 石炭対策特別委員会       |    |
| 冷害対策特別委員会       |    |
| 予算特別委員会         |    |
| 請 願・陳 情……………    | 3  |

### 会 合

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 全国都道府県議会議長会……………      | 35 |
| 豪雪災害対策協議会……………        | 35 |
| 新産業都市建設促進道県議会協議会…………… | 35 |

### 12 月 の メ モ



# 議会の動き

## 第4回定例道議会

- ① 第4回定例道議会は、12月14日招集され、同日開会、会期を12月24日まで11日間に決定後、給与関係議案を除く、39年度補正予算をはじめ、これに関連する議案11件が上程され、知事から提案説明を聴取、このあと議案調査のため12月15、16日の2日間休会した。
- ② 休会明け12月17日は、道職員給与改定関係議案12件および境界変更関係議案1件が追加上程され、知事から提案説明を聴取し、代表質問に入り、翌18日は、代表質問の続行、終わって一般質問に入り19日これを終結、同日17人からなる予算特別委員会を設置した。
- ③ 代表質問および一般質問においては、総合開発の推進、道央地区新産都市建設、明年度開発予算の問題、冷害、凶流対策、中小企業倒産対策、石炭対策、対岸貿易振興、酪農振興問題、教職員充足、交通事故防止、暴力取り締

り対策、道財政の運営および綱紀肅正等の諸問題が取り上げられた。

- ④ 12月21日は給与改定関係議案を先議し、予算特別委員長の審査報告があつて、異議なくこれを可決、委員会付託議案審査のため12月22日は休会、12月23日は、冷害対策救済に対する感謝決議を行なつた。
- ⑤ 会期末の24日は、39年度補正予算等、関係議案を議決したあと、38年度決算審査のため、17人からなる決算特別委員会を設置し、報告第1号を付託の上、本件をつぎの会期まで閉会中継続審査に付することを決定、ついで選挙管理委員および同補充員の選挙を行なつて一切の案件を議了、開会以来11日目の12月24日夕刻閉会した。
- ⑥ 提出案件の処理状況はつぎのとおり。

| 提出者 | 提出件数 | 議決の状況 |      |         | 計  |
|-----|------|-------|------|---------|----|
|     |      | 原案可決  | 報告のみ | 閉会中継続審査 |    |
| 知事  | 27   | 25    | 1    | 1       | 27 |
| 議員  | 5    | 5     | —    | —       | 5  |
| 合計  | 32   | 30    | 1    | 1       | 32 |

## 第4回定例道議会に知事から提出のあつた案件

### 議案

| 提出月日  | 番号 | 件名                                     | 議事経過       |
|-------|----|----------------------------------------|------------|
| 12.14 | 1  | 昭和39年度北海道一般会計補正予算                      | 12.24 原案可決 |
| 同     | 2  | 昭和39年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算            | 同          |
| 同     | 3  | 昭和39年度北海道立病院特別会計補正予算                   | 同          |
| 同     | 4  | 昭和39年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計補正予算            | 同          |
| 同     | 5  | 昭和39年度北海道有林野事業特別会計補正予算                 | 同          |
| 同     | 6  | 道路舗装事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件               | 同          |
| 同     | 7  | 街路舗装事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件               | 同          |
| 同     | 8  | 昭和39年度北海道特別低家賃住宅の管理に関する事務の事務委託に関する協議の件 | 同          |

|       |    |                               |            |
|-------|----|-------------------------------|------------|
| 同     | 9  | 損害賠償の額の決定に関する件                | 同          |
| 同     | 10 | 北海道恩給条例等の一部を改正する条例案           | 同          |
| 同     | 11 | 北海道身体障害者更生相談所設置条例等の一部を改正する条例案 | 同          |
| 同     | 12 | 北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案         | 同          |
| 12.17 | 13 | 昭和39年度北海道一般会計補正予算             | 12.21 原案可決 |
| 同     | 14 | 昭和39年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算   | 同          |
| 同     | 15 | 昭和39年度北海道立病院特別会計補正予算          | 同          |
| 同     | 16 | 昭和39年度北海道真駒内大森団地開発事業特別会計補正予算  | 同          |
| 同     | 17 | 昭和39年度北海道地方競馬特別会計補正予算         | 同          |
| 同     | 18 | 昭和39年度北海道有林野事業特別会計補正予算        | 同          |
| 同     | 19 | 昭和39年度北海道電気事業会計補正予算           | 同          |
| 同     | 20 | 昭和39年度北海道工業用水道事業会計補正予算        | 同          |

# 本 会 議

○12月14日 午後2時49分開議、岩本議長第4回定例道議会の開会を宣し、引き続き開議、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後2時50分休憩、午後5時9分再開、日程第1会議録署名議員の指定を行ない、諸般の報告の後、日程第2会期決定の件を議題とし、会期を12月14日から24日まで11日間に決定、つぎに日程第3議案第1号ないし第12号を議題とし、知事から提案説明を聴取、ついで議案調査のため、12月15日から16日まで2日間休会することに決定して、午後5時34分散会。

## 知事説明要旨

ただいま議題となりました昭和39年度北海道補正予算案並びにその他の案件について、その概要を御説明申し上げます。

まず、はじめに、予算案についてであります、今回の補正予算の編成に当りましては、

第1に、本年度本道を襲った冷害凶作に対する一連の冷害対策費について、国に対し要請しておりました事項が確定することにより必要な予算措置を講ずるとともに、道北海域に発生した凶漁について応急に措置すること。

第2に、国庫補助金その他特定収入の確定等に伴う所要の補正措置を講ずること。

第3に、臨時的経費で今回緊急に措置を要するものについて、所要の予算措置を講ずること。

以上の基本的な方針に基づき編成いたしました結果、今次歳入歳出予算補正の総額は

|         |           |
|---------|-----------|
| 一 般 会 計 | 7億9,694万円 |
| 特 別 会 計 | 1億5,265万円 |
| 合 計     | 9億4,959万円 |

となつたのであります。

以下、今次補正予算の歳出の主なるものから、順次、御説明申し上げます。

まず、第1点の冷害対策費についてであります、今次の冷害に対処し、過般の第3回定例会において、被害農民に対し、とりあえず、救済事業の措置を講ずるとともに、臨時会においてさらにこれら対策の追加措置並びに国に対する要望措置事項等を御審議いただいて参つたところでありますが、その後、国の予算措置等の確定の見通しを得ましたので今回、道費単独事業をも含め、それぞれ所要の追加補正を行ない、これが対策に遺憾なきを期して参りたい

## 議員から提出のあつた案件

### 決 議 案

| 提出月日  | 番号 | 件 名                   | 議事経過       |
|-------|----|-----------------------|------------|
| 12.23 |    | 冷害救援に対する感謝決議          | 12.23 原案可決 |
| 同     | 1  | 総合開発調査特別委員会調査経費に関する決議 | 同          |
| 同     | 2  | 石炭対策特別委員会調査経費に関する決議   | 同          |
| 同     | 3  | 冷害対策特別委員会調査経費に関する決議   | 同          |

### 意 見 案

| 提出月日  | 番号 | 件 名                   | 議事経過       |
|-------|----|-----------------------|------------|
| 12.24 | 1  | 労働者災害補償保険法改正に関する要望意見書 | 12.24 原案可決 |

## 報 告

| 提出月日  | 番号 | 件 名                                       | 議事経過           |
|-------|----|-------------------------------------------|----------------|
| 12.23 | 1  | 昭和38年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件                   | 12.24 閉会中 継続審査 |
| 同     | 2  | 昭和38年度北海道歳入歳出決算に係る主要な施策の成果その他予算の執行の実績報告の件 | 報 告            |

所存であります。

まず、農政関係といたしましては、被害農家の明年度の再生産に必要な種子の確保を図るため、種子購入費に対し助成を行なうこととし、これに要する経費として

再生産用種子購入費補助金 3億8,432万円

を、また、冷害等により飼料作物の被害が著しい農家の越冬用飼料を確保するために必要なビートパルプ購入費を補助する経費として

越冬用飼料購入補助金 3,024万円

をそれぞれ計上いたしましたほか、被災開拓農家の経営資金等の負担軽減を図るため、再生産資材導入のための自作農資金貸付のつなぎ資金融資に対し、利子補給の措置をとるとともに、被災開拓農家が借り入れた開拓保証資金の負担を軽くするため、支払期限延長に伴う利子補給の措置を講ずることとし、これらに要する経費として

災害経営つなぎ資金利子補給費 188万円

開拓保証資金期限延長利子補給費 550万円

をそれぞれ計上いたしました。

次に、今次冷害のため、土地改良事業の施行母体である土地改良区の賦課金徴収が困難となつたことに伴い、土地改良区に対し、つなぎ資金を貸付し、健全なる運営を図るため、これに要する経費として

土地改良事業推進資金貸付金 3,500万円

を計上いたしました。

以上の措置のほか、今次冷害に伴う被害米作農家が、国に対し返納する米穀予約概算金の資金の融通について、利子補給並びに被害農家に対する政府払い下げ「ふすま」の買い受けに関連する所要の措置を講じたのであります。

次に、教育関係についてであります。今次冷害により、要保護・準要保護の追加認定が行なわれた児童生徒に対して、所謂就学奨励援助に関する法律に基づき、教科書等の購入費についてこれを補助するための経費として

就学援助費補助金 534万円

を、また、被害農家の児童生徒のうち、給食費の支払困難なものに対し学校給食法による準要保護児童生徒の取扱いをいたすこととし、全額公費をもつて給食を可能ならしめるための経費として

学校給食費補助金 1,011万円

を、さらに、冷害による学校給食事業の円滑な運営を図るため、給食物資の供給に要する運搬資金として

北海道学校給食会貸付金 1,300万円

をそれぞれ計上したのであります。

次に、民生並びに保健衛生関係についてであります。冷害による低所得農家に対する世帯更生資金貸付枠の拡大を図るため

世帯更生資金貸付事業費補助金 1,880万円

を、また、民生委員の活動強化を図り、被害農家の保護対策を推進するための経費として

## 請 願 ・ 陳 情

① 第4回定例道議会において各常任委員会ならびに特別委員会に付託された請願、陳情はつぎのとおりである。

| 請 願           | 願                       |                             |               |                  |
|---------------|-------------------------|-----------------------------|---------------|------------------|
| 文書<br>表番<br>号 | 件 名                     | 請 願 者                       | 付託<br>委員<br>会 | 審<br>査<br>結<br>果 |
| 158           | 畑作物 共済制度の実現促進<br>の件     | 北農中央会会長<br>高橋雄之助            | 農務            | 継続<br>審査         |
| 159           | 道管かんがい排水事業実施<br>の件      | 北見土地改良区<br>理事長 寺前 秀一        | 農地<br>開拓      | 同                |
| 160           | 北海道松前高等学校に水産<br>課程設置の件  | 松前町議会議長<br>斎藤清三郎            | 文教<br>林務      | 同                |
| 161           | 北海道長万部高校普通課程<br>の学級増設の件 | 長万部町長<br>太田岩太郎              | 同             | 同                |
| 162           | 町立精薄ろ施設設置に対し<br>助成の件    | 音更町長<br>本家 三郎               | 厚生            | 同                |
| 163           | 移動採血車配車の件               | 小樽市献血預金<br>推進協議会会長<br>安達与五郎 | 同             | 同                |
| 164           | 労働災害補償保険法改正に<br>関する要望の件 | 全道労協議長<br>星野 健三             | 商工<br>労働      | 採択               |

| 陳<br>情        | 情                        |                                            | 陳 情 者 | 付託<br>委員<br>会 | 審<br>査<br>結<br>果 |
|---------------|--------------------------|--------------------------------------------|-------|---------------|------------------|
| 文書<br>表番<br>号 | 件                        | 名                                          |       |               |                  |
| 439           | 強風浪による水産関係災害<br>復旧の件     | 網走支庁管内水<br>産振興会会長<br>藤枝 義見                 | 水産    | 継続<br>審査      |                  |
| 440           | さんま凶漁対策の件                | 同                                          | 同     | 採択            |                  |
| 441           | こんぶ凶漁対策の件                | 礼文町長<br>向瀬貫三郎                              | 同     | 同             |                  |
| 442           | さんま漁業凶漁対策の件              | 枝幸町長<br>佐藤 健三                              | 同     | 同             |                  |
| 443           | 凶漁対策の件                   | 網走市長<br>佐藤 忠吉                              | 同     | 同             |                  |
| 444           | 凶漁対策の件                   | 北海道指導漁業<br>協同組合連合会<br>会長 麻里 悌三             | 同     | 同             |                  |
| 445           | 昆布森漁港の緊急整備の件             | 釧路村長<br>泉 重                                | 同     | 継続<br>審査      |                  |
| 446           | 底曳漁業禁止区域拡大反対<br>に関する件    | 小樽市議会議長<br>赤坂健一郎                           | 同     | 同             |                  |
| 447           | 沖合底曳網漁業禁止区域拡<br>大の件（外1件） | 北海道沖合底曳<br>網漁業禁止区域<br>拡大北見地区期<br>成会長 森垣 幸一 | 同     | 同             |                  |

冷害地区民生委員協議費

181万円

を計上いたしましたほか、冷害地区における少年人身売買事犯等の特別取締りについて警察関係経費を計上するとともに、今次冷害に伴い、婦人・少年の家出による転落を未然に防止するため「婦人少年相談室」の運営に関し、所要の助成措置を講じたのであります。

また、母子家庭の生業並びに子女の修学助成対策として、母子福祉資金貸付事業の運用強化を図るため

母子福祉資金貸付事業特別会計繰出金 500万円

を、道債 1,000 万円とあわせて特別会計において計上したのであります。

また、冬期間及び来春にかけて、冷害地に多発を予測される各種疾病の予防と、とくに乳幼児、妊産婦等の健康保持を図るため、冷害地 200 地区、農家戸数約 12,500 戸に対し巡回診療を実施することとし、既決予算の転用等を図るほか、新たに

冷害地巡回診療費 532万円

を計上したのであります。

以上、今回提案いたしました冷害対策関係経費につきまして御説明申し上げたのでありますが、これによりまして、本年度発生冷害に対しましては、さきの第 3 回定例会及び臨時会におきまして措置いたしました分を合わせ、応急対策費として、総額 17 億 4,897 万円の措置を講ずることとなるものであります。

次に、今次の冷害発生を契機に、今後の本道農業を真に安定せしめるための恒久諸対策の確立は最も肝要であり、長期的な展望に立脚してその方向づけにつきましては、慎重に検討を続けている次第であります。

即ち、今後の冷害恒久対策の方向といたしましては

- 1 農業経営改善の促進
- 2 酪農てん菜等適作作物の生産拡大
- 3 土地基盤の整備拡充
- 4 営農技術の高度化と農業機械化の推進

等の基本的な施策を積極的に推進するとともに、併せて

- 1 農業金融の確保と円滑化
- 2 農畜産物の価格安定と流通の合理化
- 3 畑作共済制度の確立促進
- 4 農業後継者対策の推進

等の施策を強化することにより、寒地農業の確立を促進することにあると考えている次第であります。

しかしながら、恒久対策は、その範囲も広く、総合的に実施する必要がありますので、各方面の意見を伺いながら、できる限り速やかに、対策を樹立いたしたいと考えている次第でありますので、議員各位のさらに一層の御協力を煩わしたいと存する次第であります。

次に、凶漁対策について、その概要を申し上げます。

既に御承知のように、本年度の漁業生産は、全道的にみて、平年漁に終る見通しにありますが、一部地域につきま

|     |                           |                             |      |      |
|-----|---------------------------|-----------------------------|------|------|
| 448 | 函館市の水産加工業者に対する金融対策の件      | 函館水産加工工業協同組合理事長 山形 真久       | 商工労働 | 採択   |
| 449 | 北海道水産物検査条例による検査品目の整理の件    | 道漁連、道信漁連、道水産物検査委員会 会長 吉田 憲二 | 水産   | 継続審査 |
| 450 | 水難救済事業推進対策の件              | 日本水難救済会北海道支部 会長 浜森 政雄       | 同    | 同    |
| 451 | 利尻、礼文道立自然公園を国定公園に昇格指定の件   | 宗谷観光連絡協議会 会長 清水 石松          | 文教   | 同    |
| 452 | 盲学校の高等部入学間口増に関する件         | 北海道盲学校 PTA 連合会 会長 牧野 千代治    | 同    | 同    |
| 453 | 北海道由仁高等学校商業課程の学級増設の件      | 由仁高等学校商業課程学級増進期成会 会長 上田 幸一郎 | 同    | 同    |
| 454 | 道立図書館建設位置の件               | 札幌市議会議長 斎藤 忠雄               | 同    | 同    |
| 455 | と畜検査手数料減額に関する件            | 北農中央会 会長 高橋 雄之助             | 厚生   | 同    |
| 456 | 農林業諸施設の災害復旧事業費査定制度改善に関する件 | 札幌市議会議長 斎藤 忠雄               | 農地   | 同    |
| 457 | 青少年非行諸対策の件                | 北海道中学校 校長 石突 征              | 厚生   | 同    |
| 458 | 青少年非行対策の件                 | 同                           | 文教   | 同    |

|     |                                      |                          |      |      |
|-----|--------------------------------------|--------------------------|------|------|
| 459 | 中小企業に対する金融対策樹立の件                     | 北海道商工会議所連合会 会長 広瀬 経一     | 商工労働 | 採択   |
| 460 | 北海道港湾に対する財政措置の件                      | 北海道港湾協会 会長 安達 与五郎        | 建設   | 継続審査 |
| 461 | 道道小樽、定山溪線の一部変更並びに長大橋架設の件             | 定山溪観光協会 会長 林 孝一          | 同    | 同    |
| 462 | 北海道教員保養所みずうみ学園の道立養護学校昇格の件            | 北海道教員保養所みずうみ学園後援会代表 森 節夫 | 文教   | 同    |
| 463 | 本別町開拓農家の負債整理対策の件                     | 本別町 町長 岡崎 克雄             | 農地開拓 | 同    |
| 464 | 清里町開拓農家の負債整理対策の件                     | 清里町 町長 渡辺 武              | 同    | 同    |
| 465 | 釧路村開拓農家の負債整理対策の件                     | 釧路村 町長 佐藤 清              | 同    | 同    |
| 466 | 小清水町道止別停車場線を道道清里、止別線の延長として道道に認定の件    | 小清水町 町長 藤原 教             | 建設   | 同    |
| 467 | 防災街区造成事業に係る道費補助金の増額措置並びに建築資金融資制度確立の件 | 旭川商工会議所 会長 中保 恭一         | 同    | 同    |
| 468 | 札幌市道を道道に認定の件                         | 札幌市議会議長 斎藤 忠雄            | 同    | 同    |
| 469 | アイヌ民族関係文化の保存に関する件                    | 北海道アイヌまつり文化会議 議長 川村 カ子ト  | 文教   | 同    |

して海況異変並びに天候不順等により、不漁現象を生じ、とくに、利尻、礼文両島におけるこんぶ漁業については平年の約16%の生産にとどまり、また、オホーツク海域のさんま漁業についても平年の約9%の漁獲に終るという著しい減産をみたところでありまして、これら漁業に関係する漁業者に深刻な打撃を与えたのであります。

このため、道といたしましては、早急に実態を調査いたしました結果道北海域のこんぶ及びさんま不漁に伴う応急対策といたしまして、まず、当面必要とする経営資金の確保を図るための融資に対し利子を補給することとし、今回債務負担行為の措置をいたしましたのであります。

また、減収70%以上のもののうち、特別就労対策を必要とする漁家約1,000戸について、生活資金を早急に得させるため、救漁土木事業を実施することとし、道路工事を主体とする道営事業1,570万円、並びに、道費助成による市町村営事業465万円、これらをあわせ、総事業費2,035万円の救漁土木事業を、それぞれ既定経費の転用によつて措置いたし、これによつて被害漁家に対し、約1,600万円の賃金を確保することとしたのであります。

次に、第2点の国庫補助金その他特定収入の確定等に伴う経費の主なるものといたしましては

まず、産業経済関係経費についてであります、営農の機械化を促進するために要する経費として

営農機械化促進費 1,328万円

を計上いたしますとともに、当初団体営事業として計画中の開場整備事業のうち、その一部が道営事業として決定したことに伴い、追加をも含め

開場整備事業費 3,435万円

そのほか

家畜共済加入奨励費補助金 6,968万円

耕地災害復旧費 3,311万円

をそれぞれ計上いたしました。

次に、土木建築関係経費についてであります、過般決定をみました国の予算節約方針等によりまして、補助金の減額確定等に伴う事業費につきまして所要の措置を講じたほか

災害土木復旧費 1,565万円

を追加いたしました。

また、厚生年金保険適用事業に伴う住宅建設等に要する経費として

厚生年金住宅建設費 2,158万円

を、融資の決定に伴い追加計上し、既定措置分と合わせて、本年度において578戸程度の厚生年金住宅を建設することにいたしましたのであります。

次に、社会労働関係経費についてであります、一般就労者賃金日額の改定等に伴う所要の経費として

一般失業対策費 957万円

を、また、日雇労働者就職資金の貸付件数が増加したこと

|     |                              |                              |       |   |
|-----|------------------------------|------------------------------|-------|---|
| 470 | 国有林野道有林野等の活用促進の件             | 北海道国有林等活用対策協議会会長 鹿野 恵一       | 同     | 同 |
| 471 | 上富良野町十勝岳直轄かんがい事業実施の件         | 上富良野町長 海江田武信                 | 農地開拓  | 同 |
| 472 | 暖房炭の輸送費軽減の件                  | 猿払村長 朝日 春吉                   | 石炭対策特 | 同 |
| 473 | 砂川市を産炭地域振興臨時措置法第6条の地域として指定の件 | 砂川市長 山口 正直                   | 同     | 同 |
| 474 | 冷害に伴う宗谷農業確立対策の件              | 宗谷農業確立協議会会長 大津 年明            | 冷害対策特 | 同 |
| 475 | 冷害による開拓地農作物災害対策の件            | 留萌地区開拓農業協同組合協議会会長 新田 豊       | 同     | 同 |
| 476 | 北海道造林費国庫補助増額の件               | 北海道林業連盟委員長 宮崎 定由             | 文教林務  | 同 |
| 477 | 北海道札幌市南高校通信制課程の独立と校舎建設の件     | 札幌南高校通信制課程独立校舎建設期成会会長 水沼与一郎  | 同     | 同 |
| 478 | 北海道月寒高等学校の定時制課程学級増設の件        | 月寒高等学校定時制課程学級増設促進期成会代表 松本 充史 | 同     | 同 |
| 479 | 道立図書館の建設位置等の件                | 札幌市藻岩下 橋田 貞之                 | 同     | 同 |

|     |                                                       |                         |       |   |
|-----|-------------------------------------------------------|-------------------------|-------|---|
| 480 | 下水道施設の整備促進の件                                          | 日本下水道協会北海道地方支部長 原田 与作   | 厚生    | 同 |
| 481 | 北方領土返還の件                                              | 北海道婦人団体連絡協議会会長 毛利 昭子    | 総務    | 同 |
| 482 | 手稲町地内準用河川新川改修工事の促進並びに前田、稲積地区における災害防止工事及び切替工事実施の件(外1件) | 手稲町長 養輪早三郎              | 建設    | 同 |
| 483 | 手稲町地内道道石狩、手稲線の嵩上工事促進の件(外1件)                           | 同                       | 同     | 同 |
| 484 | 道道小樽、石狩線改良工事実施の件                                      | 道道小樽、石狩線改良促進期成会会長 平佐 増雄 | 同     | 同 |
| 485 | 簡易水道の新設拡張事業及び無水地区対策事業に対し道費助成の件                        | 北海道簡易水道協会会長 山本 竹蔵       | 厚生    | 同 |
| 486 | 旭川市に道立北海道商工指導センターの支所設置の件                              | 旭川商工会議所会頭 中保 恭一         | 商工労働  | 同 |
| 487 | 青少年の健全育成の件                                            | 北海道婦人団体連絡協議会会長 毛利 昭子    | 厚生    | 同 |
| 488 | 児童福祉施設の増設強化の件                                         | 同                       | 同     | 同 |
| 489 | 上村鉱業厚岸炭鉱閉山に伴う雇用並びに地区振興対策促進の件                          | 釧路地域産炭地振興協議会会長 山本 武雄    | 石炭対策特 | 同 |



により、これに要する経費として

日雇労働者就職促進費 270万円

を、それぞれ計上いたしました。

次に、第3点の臨時的経費で緊急措置を要するものとなるものとしたしましては

まず、身体障害児の補装具交付について、国庫負担金が確定したことに伴い、本道における対象児童数995人のうち、415人に対する未交付が明らかとなりましたので、これら児童の福祉の万全を期するため、今年度より、とくに国庫負担対象外児童に対しても、道費をもつて、完全交付を行なうこととし、これに要する経費として

身体障害児童補装具交付費 413万円

を計上いたしますとともに、全道の肢体不自由児のうち、昭和40年学期に達する児童180名に対し、道立札幌、旭川両整肢学院において特別療育を実施するため

肢体不自由児特別療育費 136万円

そのほか

診療所費 237万円

精神病院費 478万円

等をそれぞれ計上いたしましたのであります。

なお、本年当初議会におきまして予算化を図りました道立図書館改築費についてであります、その後諸般の事情により年度内に着工することが困難となりましたので、本年度はとりあえず調査設計のみを行なうこととし、今回そ

の補正措置として、

図書館改築費 2,044万円

を減額することとしたのであります。

なお、また、昭和38年度の決算の結果、歳計剰余金が生じたことに伴い、地方財政法第7条の規定に基づき、その所要額を、北海道財政調整基金に積み立て、道財政の健全なる運営に資するため

北海道財政調整基金積立金 2億4,628万円

を計上いたしました。

このほか、一般行政関係経費といたしまして

道議会費 1,112万円

徴税費 7,114万円

を計上いたしましたのであります。

以上は、歳出の主なるものについて御説明申し上げたのでありますが、これに見合う財源といたしましては

分担金及び負担金 (減) 3,752万円

使用料及び手数料 1,503万円

国庫支出金 3億782万円

財産収入 147万円

寄附金 60万円

繰入金 1億5,150万円

繰越金 2億6,307万円

諸収入 8,267万円

道債 1,230万円

|     |                  |   |   |   |
|-----|------------------|---|---|---|
| 490 | 釧路地域産炭地市町村振興対策の件 | 同 | 同 | 同 |
|-----|------------------|---|---|---|

## ② 継続審査中のもの。

### 請 願

| 文書番号 | 件 名                                   | 付 託 委 員 会 | 審 査 の 結 果 |
|------|---------------------------------------|-----------|-----------|
| 149  | 社会福祉法人北海点字図書館に対し道費助成の件                | 厚生        | 採 択       |
| 151  | じん肺症患者援護対策の件                          | 同         | 同         |
| 150  | じん肺症患者援護対策の件                          | 商工労働      | 同         |
| 77   | 北海道立園芸試験場設置の件                         | 農 務       | 取り下げ      |
| 84   | 奥尻村村道稲穂線滝の油海岸線、滝の油2号線、宮津開拓3号線を道道認定の件  | 建 設       | 採 択       |
| 126  | 小平村村道川上線及び川上二又線を道道川上、留萌線の延長として道道に認定の件 | 同         | 同         |
| 127  | 小平村地内普通河川大とど子川及び温寧川を道費河川に認定の件         | 同         | 同         |

|     |                                       |      |   |
|-----|---------------------------------------|------|---|
| 131 | 江差町地内道費河川うぐい川治水工事促進並びに水害による損害賠償等措置の件  | 同    | 同 |
| 137 | 網走市、美幌町、女満別町地内道道嘉多山、美幌線の改良工事並びに橋梁架換の件 | 同    | 同 |
| 144 | 材木川水門に内水排除機新設の件                       | 同    | 同 |
| 156 | 札幌市内の国鉄線高架に対する要望の件                    | 同    | 同 |
| 146 | 豊浦町新富地区乳牛育成事業に関する件                    | 農地開拓 | 同 |

### 陳 情

| 文書番号 | 件 名                   | 付 託 委 員 会 | 審 査 の 結 果 |
|------|-----------------------|-----------|-----------|
| 233  | 札幌医科大学に歯学部設置の件        | 総 務       | 取り下げ      |
| 356  | 消防団員に対する消防教養指導の徹底強化の件 | 同         | 採 択       |
| 376  | 北海道に歯科医育機関設置の件        | 同         | 同         |
| 366  | 社会福祉法人更葉園増強計画に対し助成の件  | 厚生        | 同         |



合 計 7億9,694万円  
をもつて収支の均衡を図つた次第であります。

次に、特別会計について御説明申し上げます。

まず、札幌医科大学附属病院特別会計におきまして  
7,498万円

を、また、道立病院特別会計におきまして

5,590万円

を、それぞれ計上いたしましたのは、いずれも病院収入の増収分等を見合い財源として、その会計の運営上当面必要とする経費について措置いたそうとするものであります。

このほか

母子福祉資金貸付事業特別会計 1,500万円

道有林野事業特別会計 676万円

を、それぞれ計上いたしましたのであります。

次に、付属議案の主なるものについて順次、御説明申し上げます。

まず、議案第6号及び議案第7号道路舗装事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件ほか1件についてであります。これらはいずれも、本年度において道が施行する道路舗装及び街路舗装事業に要する経費のうち、その一部をそれぞれの関係市町村に負担せしめるため、地方財政法第27条第2項の定める手続きにより、議決を得ようとするものであります。

次に、議案第8号昭和39年度北海道特別低家賃住宅の管

理に関する事務の事務委託に関する協議の件についてであります。本件は、昭和39年度に建設した特別低家賃住宅について、建設地の市町村に、それぞれ譲渡するまでの間、その管理に関する事務を委託するため、地方自治法第252条の14の定める手続きにより、議決を得ようとするものであります。

次に、議案第11号北海道身体障害者更生相談所設置条例等の一部を改正する条例案についてであります。本件は、身体障害者更生相談所及び身体障害者更生指導所の位置を美幌市に移転し、身体障害者の更生業務の拡充強化を図るため、また、精神薄弱者更生相談所の位置を中央児童相談所の位置と同一の位置に移転し、精神薄弱者の相談業務の円滑化を期するため、この条例を制定しようとするものであります。

以上今回提案いたしました案件の主なるものについて、その大要を御説明申し上げたのであります。なお詳細につきましては、御質問に応じてお答え申し上げたいと存じます。

よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

なお、この機会につけ加えて申し上げますが、去る11月27日、北海道人専委員会から給与改定に関する勧告がなされたのであります。申し上げるまでもなく、今回の給与改定につきましては、国においても現在開会中の臨時国会において、これに関連する補正予算案その他関係法律案を

|     |                                                  |      |      |
|-----|--------------------------------------------------|------|------|
| 394 | 生活困難長期療養者に歳末見舞支給の件                               | 同    | 同    |
| 393 | へき地農漁家の電化促進の件                                    | 商工労働 | 同    |
| 4   | 北海道農業博物館建設の件                                     | 農 務  | 取り下げ |
| 385 | 低品位米の政府買上げの件                                     | 同    | 採 択  |
| 386 | 昭和39年産米政府買入期日延長の件                                | 同    | 同    |
| 137 | 幌加内町河川13線川並びにソーウナイ川（雨竜川支流）を道費河川に認定の件             | 建 設  | 同    |
| 224 | 旭川市地内道道瑞穂旭川停車場線中東旭川2丁目以東旭山間及び市道国鉄東旭川駅前道路舗装工事実施の件 | 同    | 同    |
| 261 | 室蘭市地内普通河川チマイベツ川、ボロベケレオタ川の2河川を道費河川に認定の件           | 同    | 同    |
| 282 | 栗山町地内雨煙別川、エキモアンル川を道費河川に認定の件                      | 同    | 同    |
| 284 | 札幌第2国道早期実現方要望の件                                  | 同    | 同    |
| 291 | 釧路管内における流水被害対策の件                                 | 同    | 同    |

|     |                                          |   |   |
|-----|------------------------------------------|---|---|
| 295 | 道道喜茂別、白老線を積寒法適用の件                        | 同 | 同 |
| 296 | 主要道道函館、臼尻、森線（川汲地内）道路改良工事の早期完成の件          | 同 | 同 |
| 297 | 函館空港拡張に伴う諸施設整備の件                         | 同 | 同 |
| 298 | 道道山園、藻琴停車場線（東藻琴市街地から山園まで）の積寒法指定並びに改良整備の件 | 同 | 同 |
| 302 | 奥尻村青苗地先海岸保全事業施行の件                        | 同 | 同 |
| 316 | 札幌市地内月寒川ほか6河川を道費河川認定の件                   | 同 | 同 |
| 317 | 札幌市地内道費河川真駒内川、精進川の改修及び厚別川改修工事早期完成の件      | 同 | 同 |
| 318 | 喜茂別市街道路の局部改良並びに側溝新設に対し助成の件               | 同 | 同 |
| 334 | 天塩町地内準用河川雄信内川の全体改修事業早期竣工の件               | 同 | 同 |
| 340 | 道道霧多布、厚岸線を積寒法に基づく道路として指定の件               | 同 | 同 |
| 341 | 道道霧多布、厚岸線中奔渡市街地内舗装工事実施の件                 | 同 | 同 |

審議中でありますので、道といたしましては、これらの推移を見守りつつ、慎重に検討いたし成案を得次第追加提案いたす予定でありますので、御了承いただきたいと存じている次第であります。

○12月17日 午前11時17分開議、諸般の報告の後、日程第1 陳情第472号ないし第475号を議題とし、異議なく陳情第472号および第473号は石炭対策特別委員会に、陳情第474号および第475号は冷害対策特別委員会に付託、つぎに日程第2 議案第13号ないし第25号を議題とし、知事から提案説明を聴取、議事進行の都合により、午前11時25分休憩、午後1時40分再開、日程第2にあわせ日程第3 議案第1号ないし第12号を一括議題とし、代表質問に入り、

岡田議員(社)から、①ミサイル・ホークの抜き打ち的搬入に対する知事の所見、②知事公約実現に関し、固定資産税率の標準税率までの引き下げおよび所得税寒冷地控除の具体的見通しならびに水産業に対する事業税の非課税実現の見通し、社会福祉行政に関連して、知事の基本的な考え方、精神薄弱者施設対策、社会福祉審議会の答申に対する見解、身障者職業訓練施設の増設および科目の増設に対する見解、ならびに女子身障者に対する職業訓練対策、物価対策に関し、道内におけるそ菜、果実等の価格安定に対する所見、悪循環を断ち切る方策、

契約栽培等に対する問題点のはあく、そ菜運賃のプール制、トウモロコシ値上げ傾向に対する道の対応方策、値上げ便乗自粛要請を年末にのみ限定した理由、入浴料金値上げの動向および理髪料金の基準価格を上回っていることに対する見解、婦人パーマ総合料金に対する道の放任態度、水道、バス等公営企業料金の値上げ傾向に対する方策、北方近海安全操業に関し、暫定協定を現状のままで放置しておく考え方、ソ連側において暫定協定の延長を受け入れる用意があるといっていることに対する知事の所見、並びに現行水域に対する見解、日ソ海難救助問題に関し、通信事務の簡素化および三角水域の通過に対する見解、③中小企業対策に関し、中小企業に対する今後の対応方策および倒産防止対策、弱年労働力の確保および求人難の緩和方策に対する所見、中小企業下請制度の適正化に対する見解、年末金融について融資枠の増枠および明年の資金需要対策、④対岸貿易振興問題に関し、ソ連極東貿易公団の開設に伴う道内の体制、対岸貿易に対する積極的姿勢および所見、ソ連領事館の設置に対する見解、(あらかじめ会議時間を延長) 対象品目の拡大、ソ連極東貿易公団との交渉契約に対する見解、⑤最近における地方財政の現状と道財政に関し、現状はあくの内容および是正に対する見解、市町村財政悪化に対する今後の方策、39年度道財政収支の見通し、38年度黒字決算となつたことに対する見解、39年度道税調定進捗状況、⑥

|     |                                                |      |      |
|-----|------------------------------------------------|------|------|
| 345 | 準用河川音別川改修工事早期実施の件                              | 同    | 同    |
| 346 | 音別町地内道道尺別、尺別停車場線並びに道道本流、音別停車場線(2線)の改良舗装工事等実施の件 | 同    | 同    |
| 347 | 音別町地内に砂防工事実施の件                                 | 同    | 同    |
| 380 | 道道旭川、大雪山、層雲峡線舗装並びに改良事業実施の件                     | 同    | 同    |
| 382 | 6月上旬における豪雨災害に対する復旧対策の件                         | 同    | 取り下げ |
| 367 | 駒ヶ岳山ろく総合土地改良事業実施促進の件                           | 農地開拓 | 採 択  |
| 390 | 開拓農家振興対策の件                                     | 同    | 同    |
| 391 | 道管かんぱい技術職員の増員配置に関する件                           | 同    | 同    |
| 392 | 開拓農家の負債整理対策の件                                  | 同    | 同    |
| 414 | 長沼町開拓農家の負債整理対策の件                               | 同    | 同    |
| 415 | 愛別町開拓農家の負債整理対策の件                               | 同    | 同    |

|     |                                       |      |      |
|-----|---------------------------------------|------|------|
| 416 | 陸別町開拓農家の負債整理対策の件                      | 同    | 同    |
| 285 | 道立水産試験場室蘭分場の総合試験場昇格の件                 | 水 産  | 取り下げ |
| 413 | 鶴巻漁港築設の件                              | 同    | 採 択  |
| 328 | 私立希望学園札幌第一高校の授業料値上問題早期解決の件            | 文教林務 | 取り下げ |
| 349 | 札幌第一高校の授業料値上げ問題をめぐる生徒の諸証明発行停止及び出校停止の件 | 同    | 同    |

③ さらに継続審査されるもの。

| 請 願      |                           |         |  |
|----------|---------------------------|---------|--|
| 文書<br>番号 | 件 名                       | 付 託 会 員 |  |
| 62       | 音楽、舞踊等に対する入場税撤廃の件         | 総 務     |  |
| 68       | 勤労者音楽協議会に対する不当課税撤回の決議要請の件 | 同       |  |
| 83       | 旭川市新町地区に交番設置の件            | 同       |  |

綱紀弛緩に関し、道職員は他府県の職員に比し、優秀と考えるが知事の所見、臨時職員の任用期間に対するあり方および今後の対処方針、三角山採石問題に関し、所有権移転の経緯および採石の今日までの経過、道庁職員が事務機械を利用し図面を複写し、外部に販売している例があるかどうか、庁内人事管理に関し、今春はじめて海外研修に派遣した職員は、いずれも庁内職員間の何々会組織の一員であるが、これに対する見解、職員間で同僚をひまうするような事例の認識、今後の海外派遣に対する考え方ならびに人事管理適正化に対する所見等について質問、知事から答弁、岡田議員から再質問、知事から答弁があつて、午後5時22分延会。

## 知事説明要旨

ただいま議題となりました給与改定に関連する予算案並びに関係条例案について、その概要を御説明申し上げます。

まず、予算案から申し上げます。

今回の給与改定に伴う所要額につきましては、9月1日現在の現員現給を基礎とし、今次の職種別改定給料表により算定いたしましたものでありまして、その結果、一般会計の所要額の総額は

31億1,983万円

と相成つた次第であります。

これを職員別にみますと

一般職員において 7億2,550万円

教育職員において 20億7,405万円

警察職員において 3億2,028万円

と相成っております。

次に、第2回定例会において既に改正をみた北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例により、旧来の石炭寒冷地手当が、国の措置に準じ、寒冷地手当として整備されたことに伴う所要額の総額は

2億1,415万円

となり、これを今回の給与改定所要額とあわせまして

33億3,398万円

と相成る次第であります。

これら今回追加補正すべき所要総額に対し、既定経費の中における給与費の過不足を調整し、不用となる額

1億3,713万円

を控除した結果、今回給与費の予算計上所要総額は

一般会計 31億9,685万円

と相成る次第であります。

以上歳出に見合う財源といたしましては

一般会計におきましては

地方譲与税 1億9,250万円

|     |                           |      |
|-----|---------------------------|------|
| 110 | 石狩川汚水被害に関し措置の件            | 同    |
| 152 | じん肺症患者援護対策の件              | 同    |
| 9   | 婦人洗髪料廃止要望の件               | 厚生   |
| 97  | 公衆浴場入浴料金改訂反対の件            | 同    |
| 157 | 結核患者等に対する援護諸対策要望の件        | 同    |
| 29  | 商工行政及び労働行政推進対策確立の件        | 商工労働 |
| 73  | 農林水産失業保険の当然適用要望の件         | 同    |
| 92  | 上川支庁管内にそ菜果樹試験研究機関設置の件     | 農務   |
| 108 | 道有貸付種雄馬の貸付料免除の件（外5件）      | 同    |
| 6   | 小平村地内住吉停車場線を道道に認定の件       | 建設   |
| 43  | 新冠町道道第3号道路を道道認定の件         | 同    |
| 69  | 乙部村地内道立自然公園「しびの岬」観光道路存置の件 | 同    |

|     |                                               |      |
|-----|-----------------------------------------------|------|
| 103 | 知内村地内の海岸に対し防災工事実施の件                           | 同    |
| 107 | 富良野町、山部村間町村道5区本通線を道道に認定の件                     | 同    |
| 120 | 準用河川ビリベツ川の氾濫に伴う農業被害補償並びに防災対策実施の件              | 同    |
| 128 | 新冠町道道第3号路線を道道に認定の件                            | 同    |
| 130 | 2級国道網走、旭川線設置の件                                | 同    |
| 132 | 常呂、端野町町道吉野、北登線を道道に認定の件                        | 同    |
| 133 | 斜里町地内道道美幌、斜里線中9号道路及び東2線道路経由を野川道路及び7号道路経由に変更の件 | 同    |
| 138 | 道道幌加内、旭川線の建設促進並びに接合地点変更の件                     | 同    |
| 139 | 東藻琴村、女満別町地内町村道を道道に認定の件                        | 同    |
| 140 | 美幌町、女満別町地内町道を道道に認定の件                          | 同    |
| 153 | じん肺症患者援護対策の件                                  | 同    |
| 122 | 準用河川ビリベツ川の氾濫に伴う農業被害補償並びに防災対策実施の件              | 農地開拓 |

|       |            |
|-------|------------|
| 地方交付税 | 8億3,000万円  |
| 国庫支出金 | 8億9,588万円  |
| 繰入金   | 283万円      |
| 繰越金   | 11億8,455万円 |
| 諸収入   | 9,107万円    |
| 合計    | 31億9,685万円 |

と相成つた次第であります。

次に特別会計におきましては、各会計ごとにそれぞれ繰越金、事業収入等を見合いに給与改定に伴う所要額を措置するほか、その他若干の補正措置を含めその総額は

9,126万円

を計上した次第であります。

次に、今回の給与改定措置についてその概要を御説明申し上げます。

御承知のとおり、政府は国家公務員の給与改定を本年9月1日に遡り実施することとし、これが補正予算の成立をみたところであります。道といたしましては、昭和39年11月27日付の道人事委員会の勧告並びに国の給与改定に対する方針に基づき、慎重に検討を重ねた結果、今回所要の改正措置を行なうこととした次第であります。

以下、改正の主なる事項について申し上げます。

まず、職員の本俸額の改定につきましては、人事委員会の勧告に従い初任給を中心とする下位等級の改善等所要の改定を行なうほか、新たに行政職給料表に新三等級を設け、

困難な業務を処理する一部職員をこれに格付することにより、業務の実態に即応するよう改正措置をいたすことといたしました。

次に、諸手当についてであります。期末手当等については、各支給期ともそれぞれ0.1月分を増額するとともに、通勤手当、宿日直手当については所要の増額措置を講ずるほか、警察職員については作業手当等を措置することとし、また、地方自治法の一部改正に伴い、農業改良普及手当を農林漁業改良普及手当に改める等所要の改正をいたそうとするものであります。

以上、提出案件の概要につきまして御説明申し上げた次第であります。

よろしく御審議の程をお願い申し上げます。

○12月18日 午前10時56分開議、諸般の報告の後、日程第

1議案第1号ないし第25号を議題とし、代表質問を続行

奈良議員(自民)から、①冷害、凶漁対策問題に関し、今次冷害に対処すべき具体的恒久対策の進め方、酪農、てん菜振興の今後の方針、今後の営農指導のあり方、農業氣象観測体制の充実強化に対する見解、凶漁に対処する基本的方針および恒久対策、ならびに今後の漁業共済制度指導の内容、ソ連が公海上に一方的に新航路を指定したことに伴う本道にあたる影響およびこれに対処するかまえ、凶漁地帯における水産加工業者に対する金融対策、

|    |                                   |      |
|----|-----------------------------------|------|
| 13 | 高校総合制持続実施の件                       | 文教林務 |
| 14 | 私立学校に対し道費の助成及び助成制度確立の件            | 同    |
| 16 | 札幌市における高校定時制教育拡充整備の件              | 同    |
| 18 | 釧路市立北陽高等学校道立移管の件                  | 同    |
| 20 | 病虚弱児教育のための養護学校設置の件                | 同    |
| 25 | 病虚弱児教育に従事する教員の定数増要望の件             | 同    |
| 33 | 音楽課程高等学校設置の件                      | 同    |
| 34 | 道立北見北斗高等学校移転改築の件                  | 同    |
| 39 | 町立八雲小、中学校特殊学級「ひまわり学院」を道立養護学校に移管の件 | 同    |
| 40 | 道立函館商業高等学校校舎改築の件                  | 同    |
| 51 | 江別市道立高等学校新設の件                     | 同    |
| 79 | 高校進学希望者収容計画の修正及び教育費の父母負担軽減等の件     | 同    |

|     |                       |       |
|-----|-----------------------|-------|
| 80  | 道立工業高等学校印刷科設置の件       | 同     |
| 82  | 札幌市に公立普通高校新設等の件       | 同     |
| 93  | 北海道に美術課程高校設置の件        | 同     |
| 94  | 心身障害者に対する教育向上対策推進の件   | 同     |
| 145 | 特殊教育振興対策の件            | 同     |
| 147 | 北海道網走南ヶ丘高等学校理科実験室新設の件 | 同     |
| 154 | じん肺症患者援護対策の件          | 同     |
| 155 | 滝川高等学校屋内体育館改築の件       | 同     |
| 148 | 北部上川冷害凶作対策の件          | 冷害対策特 |

陳 情

| 文書<br>番号 | 件 名    | 付 託<br>委 員 会 |
|----------|--------|--------------|
| 21       | 暴力追放の件 | 総 務          |

②道央地区新産都市建設に関し、地元負担の軽減および関連事業の推進ならびに地区農林漁業の推進対策に対する見解、地域内市町村の分担関係を明確にするための推進計画樹立に対する見解、札幌市内における鉄道高架化推進方策、③交通、暴力問題に関し、踏み切り事故、交差点除行違反等交通事故対処方針、暴力団組織の現況およびその特性、今後の取り締り方針、小暴力事犯追放に対する見解、年末警戒体制の万全、警察職員の充足および健康管理ならびに機動力の強化等警察行政の近代化に対する見解、④教育問題に関し、本年度学力調査結果の受けとめ方、学力低下の原因、へき地指定校において成績が上回っている要因、学力低下に対する今後の対策、小、中学校における道徳教育実施の状況および道徳教育充実のその後の具体策、未実施校のはあくおよび具体的対処方策、教職員の服務上の事故に対する今後の指導方針、服務規律の指導に対するあり方、職務専念義務の特例条例運用に関し、道立学校と市町村立学校とで異なつた扱いで運用されていることの不合理性、広域人事の円滑化推進、人事異動障害点の明示および市町村教委との協力がいけい等について質問、知事、道警本部長、教育長から答弁、議事進行の都合により、午後零時48分休憩、午後2時46分再開、あらかじめ会議時間を延長、つぎに、

津川議員(公正ク)から、①第2期道総合開発の推進と昭和40年度開発予算確保の見通し、②中小企業倒産問題

に関し、明年2、3月危機をのりこえるため、年度末金融と同様、特別金融対策を行なうことに対する見解、中小企業協同組合の育成および組織化推進に対する所見、③冷害恒久対策に関し、開放経済体制下における寒冷地農業のあり方、営農方式例の再検討および経営規模拡大に対する見解、農業企業金融の指導に対する見解、明年度で失効するマル寒資金に対する今後の方策、特別融資制度を国に要求する考え方等について質問、知事から答弁、つぎに、質疑および一般質問に入り、

美濃議員(社)から、①冷害恒久対策に関し、霜害被害等により、被害額は673億円と推計されるが道の算定は不十分ではないか、道の応急措置の万全と、冷害恒久対策に対処する知事の信念、農家負債の用途別分類および明年の対処方針、固定化負債の累増に対する認識、農畜産物価格安定対策、道東、道北地域における新規開田推進対策、開拓農家負債整理推進に対する考え方および今後の措置方針、土地基盤強化、河川改修、農家林育成、酪農振興、畑作共済制度等冷害恒久対策等の具体的大綱の明示、②てん菜振興問題に関し、明年度でてん菜取引価格設定に対する見解、反収増加対策、省力栽培の普及およびビート種子普及対策、種子の輸入により、不用となる在来種子対策、昭和40年における1工場当たりの原料数量および作付面積の見通しならびに操業合理化に対する指導方針等について質問、知事から答弁、美濃議

|     |                         |    |
|-----|-------------------------|----|
| 26  | 汚水対策の件                  | 同  |
| 122 | 小、中学校敷地内の国、道有地の無償払下げの件  | 同  |
| 184 | 工場等廃水の規制強化の件            | 同  |
| 186 | 国旗掲揚に関する件               | 同  |
| 187 | 沿岸漁業者及び漁業協同組合に対する課税対策の件 | 同  |
| 272 | 流氷公害対策の件                | 同  |
| 292 | 農地固定資産評価改訂に関する要望の件      | 同  |
| 352 | 元市町村職員連盟活動費助成に関する件      | 同  |
| 157 | 北海道中央災害病院建設の件           | 厚生 |
| 211 | 北海道中央災害病院建設に関する件        | 同  |
| 244 | 入浴料金値上げ反対の件(外1件)        | 同  |
| 308 | 社会保障費の増額及び医療費引上要望の件     | 同  |

|     |                             |      |
|-----|-----------------------------|------|
| 377 | 北海道中央災害病院建設計画に対し反対の件        | 同    |
| 180 | 漁業労働対策推進の件                  | 商工労働 |
| 185 | 衡漁業に対する失業保険の完全適用実施の件        | 同    |
| 193 | 社団法人「根つこの家」建設に対する助成の件       | 同    |
| 324 | 美唄職業訓練所夕張分所の昇格並びに訓練科目の増設の件  | 同    |
| 353 | 道立網走職業訓練所に建設機械科、板金科、塗装科増設の件 | 同    |
| 95  | 農業災害補償制度の拡充強化の件             | 農務   |
| 204 | 果樹農業振興に関する件                 | 同    |
| 205 | 飼料作物優良種子の改良並びに増殖費助成措置に関する件  | 同    |
| 213 | 北海道種雄豚検査条例設定の件              | 同    |
| 319 | 酪農振興対策に関する件                 | 同    |
| 330 | 新酪農政策確立等に関する件               | 同    |

員から再質問、知事から答弁があつて、午後4時36分延会。

○12月19日 午前10時59分開議、諸般の報告の後、日程第1議案第1号ないし第25号を議題とし、質疑および一般質問を続行、

諏訪田議員(社)から、①冷害農民の道外出稼ぎに伴う留守家族補導および出稼ぎ地における補導対策、弱年労働力の確保に対する施策および今後の対策、公共職業安定所職員の定員増および就労後の補導に対する見解、②教育問題に関し、教員の欠員事実に対する考え方および今後の充足対策、免許外勤務教職員に対する処の方策および教職員の定数増要求に対する見解、教員適正度検査合格者採用に対する考え方および明年度の見通し、道学大募集定員の削減に対し強硬に反対することに対する見解および処の方策等について質問、知事、教育長から答弁、諏訪田議員から再質問、教育長から答弁、つぎに、

武藤議員(社)から、石炭問題に関し、第2次石炭調査団の答申に対する見解および知事の態度、答申によれば労務者の確保は不可能と考えるがどうか、これに対する施策の明示、中小炭鉱救済に対する考え方、今後の石炭産業の位置付けに対する知事の認識および見解、炭鉱の国有化に対する所見、答申の実施後、石炭単価が値上げされた場合、電力料金の値上げが起るのではないか、こ

れに対する知事の所見、単価の引き上げにより一般の石炭需要が減少するが、これが需要確保に対する見解等について質問、知事から答弁があつて、通告の質疑および質問を終結、ついで清水議員(社)から、予算に関連する議案第1号ないし第5号、第13号ないし第24号については、なお慎重審査の必要があると認められるので、17人からなる予算特別委員会を設置してこれらの案件を付託されたいとの動議が提出され、賛成あつて動議成立、これをはかつて異議なくそのことに決定、直ちに、つぎの委員を議長指名により選任し、関係議案を付託した。

|           |            |
|-----------|------------|
| 青木 力(社)   | 河野 辰男(社)   |
| 佐々木 豊(自民) | 竹内 重雄(社)   |
| 谷口 太一(自民) | 岡田 義雄(社)   |
| 千葉 忠雄(自民) | 奈良 敬蔵(自民)  |
| 池田 金助(自民) | 樋口 哲男(自民)  |
| 岩田 徳治(自民) | 倉増 新八郎(公正) |
| 尾崎 勇(自民)  | 松尾 三良(自民)  |
| 本間 義孝(社)  | 糸川 章夫(社)   |
| 美濃 政市(社)  |            |

つぎに残余の議案第6号ないし第8号は建設委員会に、議案第9号、第10号および第25号は総務委員会に、議案第11号は厚生委員会に、議案第12号は文教林務委員会にそれぞれ付託することを決定して、午後零時29分散会。

|     |                                   |    |
|-----|-----------------------------------|----|
| 358 | 酪農基本対策確立の件                        | 同  |
| 359 | 昭和40年産てん生産振興の件                    | 同  |
| 360 | 昭和39年産てん菜結の政府買入れの件                | 同  |
| 361 | 大規模草地改良事業推進の件                     | 同  |
| 362 | 北海道立農業試験場北見支場の試験業務拡充の件            | 同  |
| 378 | 酪農政策確立の件                          | 同  |
| 395 | 酪農基本対策確立の件                        | 同  |
| 396 | ビートの自主協販体制確立及び恒久対策の件              | 同  |
| 103 | 石狩川に札幌大橋架設要望の件                    | 建設 |
| 188 | 下水道事業に対し道費補助実施の件                  | 同  |
| 220 | 釧路市における防災建築街区内建築物の建設に対し特別融資制度確立の件 | 同  |
| 225 | 狩太町藻岩山観光道路開さくの件                   | 同  |

|     |                             |      |
|-----|-----------------------------|------|
| 299 | 函館市市道川西26号線(市郡界線)を道道に認定の件   | 同    |
| 300 | 釧路市村道オビラシケ川沿遠矢線を道道認定の件      | 同    |
| 301 | 留寿都村、真狩村、豊浦町地内町村道を道道に認定の件   | 同    |
| 342 | 音更町地内における道道(4路線)の新設及び終点変更の件 | 同    |
| 381 | 厚岸大橋架橋促進の件                  | 同    |
| 387 | 国策パルプ工業株式会社旭川工場放流廃水の件       | 同    |
| 397 | ダム放水の補償早期支払要求及び恒久対策の件       | 同    |
| 277 | 魚礁設置事業に多段式コンクリート魚礁採用の件      | 水産   |
| 14  | 道立留萌工業及び商業高等学校の設置並びに校舎改築の件  | 文教林務 |
| 80  | 苫小牧市に道立高等学校新設の件(外1件)        | 同    |
| 93  | 北海道美術館建設促進の件                | 同    |
| 127 | 札幌市に北海道立博物館建設の件             | 同    |

○12月21日 午後2時4分開議、諸般の報告の後、日程第1議案第13号ないし第24号を議題とし、糸川予算特別委員長(社)から、委員会における審査の経過および結果について報告があり、異議なく委員長報告のとおり原案可決、つぎに、委員会議案審査のための休会についてはかり、12月22日1日を休会することに決定して、午後2時10分散会。

## 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会の委員長といたしまして、本委員会に付託されました案件のうち、ただいま議題となりました議案第13号ないし第24号の12件につきまして、その審査の経過並びに結果を申し上げます。

本委員会に付託されました案件は、議案第1号ないし第5号及びただいま議題となつております12議案の17件であります。各案件の重要性から、委員会設置当日、直ちに、正副委員長の互選を行ないますとともに、審議の方法等を協議いたしました結果、議案第13号ないし第24号の給与関係議案は、急務案件でありますところから、他の議案と切り離して先議することとし、同日の委員会におきまして慎重審議の結果、お手元に配付の報告書のとおり、それぞれ

結論を得た次第であります。

御承知のとおり議案第13号ないし第24号は、今回の道人事業委員会の給与改訂に関する報告並びに国の給与改訂に対する方針に基づき、道職員の給与の改訂を行なうため、関係給与条例を改正するとともに、その実施に必要な予算措置を講じようとするものでありまして、その総額は、一般会計、特別会計を合わせて32億8,811万円と相成つております。

次に、本件に関する質疑を通じ、論議の対象となりました主なる点を申し上げますと

道職員の給与改訂報告に関し、新給料表適用に対する考え方、給与体系上、特に行政職給料表と医療職給料表との矛盾並びに標準生計費を初任給決定のみに使用することについての見解、給与改訂に伴う財源措置に関し、本年度決算の見通し、市町村の財源措置とこれに対する指導方針、国のとつた財源措置、本年度の不用額の見通し、道税の徴収成績の向上に伴う歳入予算見積りについての考え方、新給料表の実施に関し、単位職場に生ずる格差及び矛盾の克服方策、新3等級及び新4等級の取り扱い方針、いわゆる「渡り」昇格等職員の既得権の処理に対する考え方、地方財政上給与費に対する基本的考え方、昭和40年度給与費予算の編成方針、暫定手当の本俸繰り入れについての見解、職員住宅対策に関連し、住宅手当を新設する意思の有無及び今後の職員公宅確保に対す

|     |                                      |   |
|-----|--------------------------------------|---|
| 144 | 道立岩見沢農業高等学校屋内運動場増改築の件                | 同 |
| 158 | 岩見沢市に道立工業高等学校設置の件                    | 同 |
| 161 | 夕張市立高校に全日制課程(職業科)一閣口増設の件             | 同 |
| 163 | 公民館の振興充実要望の件                         | 同 |
| 226 | 教育振興対策推進の件                           | 同 |
| 227 | 町立福島高等学校を道立に移管の件                     | 同 |
| 228 | 町立新得高等学校道立移管の件                       | 同 |
| 231 | 幼稚園教育振興計画再検討要望の件                     | 同 |
| 232 | 道立標茶高等学校を農業自営者養成農業高等学校補充整備計画実施校に指定の件 | 同 |
| 251 | 北オホーツク道立自然公園指定の件                     | 同 |
| 254 | 特殊学級教育振興の件                           | 同 |
| 270 | 昆布森沿岸を道立自然公園に指定の件                    | 同 |

|     |                                                   |       |
|-----|---------------------------------------------------|-------|
| 313 | 余市地方(小樽市、余市町、大江村)に道立園芸高等学校設置の件                    | 同     |
| 327 | 札幌市定山溪温泉特別附近に国民休暇村設置の件                            | 同     |
| 343 | へき地教職員の優遇措置の件                                     | 同     |
| 348 | オリンピック冬季大会を札幌市に招致の件                               | 同     |
| 354 | 道立恵庭南高等学校の学級増設の件                                  | 同     |
| 374 | 札幌市近郊真駒内地区に道立図書館、博物館、美術工芸館、ユースホステル、市民運動場等公共施設誘致の件 | 同     |
| 375 | 北海道江差高等学校の産業教育並びに理科教育関係特別教室等整備の件                  | 同     |
| 379 | 公民館等社会教育施設充実の件                                    | 同     |
| 384 | 北海道余市高等学校の不燃性構造による校舎等改築促進の件                       | 同     |
| 411 | 教育の振興対策の件                                         | 同     |
| 412 | 札幌月寒高等学校校舎増改築の件                                   | 同     |
| 388 | 苫小牧港の共同管理の件                                       | 総合開発特 |



## る見解

等について熱心な論議が交わされた次第であります、この過程におきまして、特に、次に申し上げますような意見、すなわち、

給料表の効告に当つては、道職員の構成及び標準生計費を全般にわたつて充分考慮すべきである。

との強い意見があつた次第であります。

しかして、質疑終結後各派代表者間におきまして意見の調整をはかりました上、委員会を再開し、議案第13号ないし第24号は、いずれも原案可決と決定いたしました次第であります。

なお、本件につきましては、次の意見、すなわち、

給料表中新3等級の運営については、任命権者と協議して、合理的な運営を計るべきである。

との付帯意見を付されたいという動議が提出せられ、全会一致これを決定いたしました次第であります。

以上、本委員会において先議いたしました議案の審査経過並びに結果を申し上げたのでありますが、残余の案件につきましても、すみやかに審査を行ない、御報告申し上げたいと存じます。

○10月23日 午後2時46分開議、諸般の報告の後、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後2時47分休憩、午後6時45分再開、諸般の報告の後、議長

から、冷害救援に対する感謝決議を発議、書記朗読の案文のとおり、異議なく全員起立にてこれを可決、つぎに、日程第1決議案第1号ないし第3号を議題とし、説明および委員会託付を省略して異議なく原案のとおり可決、つぎに日程第2陳情第489号および第490号を議題とし、異議なく石炭対策特別委員会に付託することに決定して午後6時48分散会。

## 冷害救援に対する感謝決議

(39.12.23原案可決)

このたびの北海道の冷害に対し、道内外より深い御同情を寄せられ、被災農民の救援にあたたかい御配慮をたまわりましたことは、まことに感謝にたえないところであります。

本議会は、冷害克服のため、今後さらに諸般の対策を推進し、被災農民の生活安定をはかるとともに、寒地農業確立に向かつて一層の努力を注ぐ決意であります。

ここに、北海道議会の決議をもつて、つつしんで感謝の意を表します。

昭和39年12月23日

|     |                                            |       |
|-----|--------------------------------------------|-------|
| 389 | 北海道港湾行政の件                                  | 同     |
| 147 | 苫小牧市を産炭地域に追加指定方要望の件                        | 石炭対策特 |
| 198 | 釧路市を産炭地域振興臨時措置法第6条に基づく地域指定方要望の件            | 同     |
| 259 | 産炭地域振興事業の一環として美瑛市に設置されるセラミックブロック工場建設計画中止の件 | 同     |
| 326 | 茅沼炭鉱閉山に伴う泊村振興対策の件                          | 同     |
| 368 | 産炭地中小企業特別融資資金の貸付期間の再延長の件                   | 同     |
| 398 | 厚岸炭鉱閉山に伴う離職者対策の件                           | 同     |
| 399 | 厚岸炭鉱の石炭鉱業整備事業団による早期買上げの件                   | 同     |
| 369 | 十勝管内における冷害対策の件                             | 冷害対策特 |
| 370 | 十勝管内における冷水害対策の件                            | 同     |
| 371 | 開拓地災害対策実施の件                                | 同     |
| 372 | 網走支庁管内における冷湿害対策の件                          | 同     |

|     |                      |   |
|-----|----------------------|---|
| 400 | 冷水害対策の件              | 同 |
| 401 | 昭和40年度播種用亜麻種子購入費補助の件 | 同 |
| 402 | 昭和39年産農作物の冷害対策の件     | 同 |
| 403 | 空知地方における冷害対策の件       | 同 |
| 404 | 冷害凶作対策の件             | 同 |
| 405 | 冷害対策の件               | 同 |
| 406 | 冷害による酪農経営対策の件        | 同 |
| 407 | 釧路管内における冷湿害対策の件      | 同 |
| 408 | 石狩管内における冷害対策の件       | 同 |
| 409 | 冷害対策の件               | 同 |
| 410 | 網走管内における冷湿害対策の件      | 同 |
| 417 | 冷害対策の件               | 同 |

北海道議会

○12月24日 午後2時50分開議、諸般の報告の後、あらかじめ会議時間を延長、日程第1議案第1号ないし第5号を議題とし、糸川予算特別委員長(社)から、委員会における審査の経過および結果について報告があり、異議なく委員長報告のとおり原案可決、つぎに日程第2議案第6号ないし第12号および第25号を議題とし、尾崎建設副委員長(自民)から、議案第6号ないし第8号について、深山総務委員長(自民)から、議案第9号、第10号および第25号について、神部厚生委員長(自民)から、議案第11号について、道下文教林務委員長(社)から、議案第12号について、それぞれ委員会における審査の経過および結果について報告があり、異議なく委員長報告のとおり、いずれも原案可決、つぎに日程第3報告第1号を議題とし、提案説明を省略、村上議員(公正ク)から報告第1号については慎重審査を要するため、17人からなる決算特別委員会を設置し、これを付託の上つぎの会期まで閉会中継続審査に付されたいとの動議が提出され、賛成あつて動議成立、これをはかつて異議なくそのことに決定、直ちにつぎの委員を議長指名により選任し、報告第1号を付託した。

石坂幸次(社) 渡辺 浩(社)  
龜井忠衛(社) 林 利博(自民)

五十嵐 長 寿(自民) 森 春 一(自民)  
佐々木 豊(自民) 倉 増 新八郎(公正ク)  
新 谷 市 造(自民) 佐 野 法 幸(社)  
武 内 豊 誌(自民) 新 川 輝 隆(社)  
池 田 金 助(自民) 堀 重 平(社)  
尾 崎 勇(自民) 川 口 常 一(自民)  
湯 田 倉 治(社)

つぎに日程第4意見案第1号を議題とし、説明および委員会付託を省略して、異議なく原案のとおり可決、つぎに日程第5請願、陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略して、異議なく委員会決定のとおりこれを決定、つぎに日程第6選挙管理委員会委員および同補充員の選挙に入り、議長指名推せんの方法により、次の委員を選出した。

| 選挙管理委員  | 同 補 充 員 |
|---------|---------|
| 玉 置 信 一 | 千 葉 軍 治 |
| 桜 井 長 徳 | 笠 井 幸 衛 |
| 淡 川 登   | 新 覚 儀   |
| 和 平 千 治 | 古田島 薫 平 |

つぎに、閉会中請願、陳情審査の件および閉会中事務継続調査の件を議題とし、本件は各委員長から申し出のとおり閉会中継続審査または調査に付することに決定、以上をもつて今期定例会に付議された案件のすべてを議了、岩本議長から閉会のあいさつがあつて、午後3時25

|     |                     |   |
|-----|---------------------|---|
| 418 | 根室管内冷害対策の件          | 同 |
| 419 | 十勝管内における冷湿害対策の件     | 同 |
| 420 | 冷災害対策の件             | 同 |
| 421 | 開拓地災害対策の件           | 同 |
| 422 | 冷害対策の件              | 同 |
| 423 | 日高管内における冷害対策の件      | 同 |
| 424 | 胆振地区における冷害対策の件      | 同 |
| 425 | 石狩地区における冷害対策の件      | 同 |
| 426 | 後志地区における冷害対策の件      | 同 |
| 427 | 芦別市における冷害対策土木事業実施の件 | 同 |
| 428 | 冷害凶作対策の件            | 同 |
| 429 | 冷害凶作関連中小企業特別融資実施の件  | 同 |

|     |                      |   |
|-----|----------------------|---|
| 430 | 冷害による商工業者に対する特別措置の件  | 同 |
| 431 | 冷害凶作関連中小企業特別融資実施の件   | 同 |
| 432 | 胆振管内における冷害対策の件       | 同 |
| 433 | 冷災害対策の件              | 同 |
| 434 | 留萌管内における冷害対策の件       | 同 |
| 435 | 冷害等による商工業者に対する特別措置の件 | 同 |
| 436 | 冷害対策の件               | 同 |
| 437 | 十勝管内冷害対策の件           | 同 |
| 438 | 冷災害対策の件              | 同 |

分閉会。

## 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過並びに結果について、御報告申し上げます。

本委員会に付託されました案件は、議案第1号ないし第5号及び第13号ないし第24号の17件ですが、職員の給与関係議案12件につきましては、さきに御報告申し上げたところでありまして、今回御報告申し上げますのは、ただいま議題となつております議案第1号ないし第5号の5件でありまして、これらの議案につきましては、先議案件議了後も引き続き審査を進め、21日は、土木部、建築部、企画部、林務部、農務部、農地開拓部の各所管、22日は、教育委員会、商工部、労働部、衛生部の各所管、23日は、民生部、公安委員会、総務部の各所管並びに総括質疑を行ない、同日をもつて、付託案件に対する一切の質疑を終結し、本日各派代表者により、意見の調整をはかりました上、さきほどの委員会におきまして、別途お手元に配付の報告書のとおり、結論を得た次第であります。

この間委員会各位におかれましては、連日、かつ、熱心に審議をつくされた次第でありまして、その御労苦に対しましては、この際衷心より敬意を表する次第であります。御承知のとおり本件は一般会計、特別会計を合わせて、総額9億4,959万円の補正予算案でありまして、これらの予算案を中心に、当面する道政上の諸問題について、終始熱心な論議がかわされた次第であります。

以下、本委員会における質疑を通じ、論議の対象となりました主な点を申し上げますと、まず、

土木部及び建築部の各所管におきましては、

救農土木事業の実施に関連し、救農土木工事に係る事故発生の現状及び関係市町村に対しての行政指導並びに今後の防止対策、河川改修事業に関連し、新河川法施行に伴う1級河川の指定内容と今後の見通し並びに特例に対する道の方針、原始河川等改修計画についての構想及び昭和40年度実施に対する予算措置並びに工事完成後の内水排除等の具体策、国の治水5ヵ年計画の推進状況、災害復旧計画並びに各河川の計画洪水量測定とこれが対応性の確立、酪農振興に関し、酪農道整備の現況及び総合的対策の有無、救農土木事業に係る道費補助配分の内容及び事業推進に対する考え方、公営住宅割増賃料徴収問題に関し、公営住宅割増賃料徴収規定に対する見解及び改定する意思の有無、割増賃料を国が示す最高徴収基準に定めた理由、本年度における割増賃料収入見込額並びに今後の拡大に対する考え方、公営住宅の維持補修に対する見解、割増賃料の徴収目的とこれが運用方針。

企画部及び林務部の各所管におきましては、

道内の空港整備問題に関し、釧路空港の霧による欠航対策、第2期北海道総合開発計画に基づく札幌周辺における新規民間空港整備計画の見通し、釧路西港の建設に伴う問題解決の指導に対する考え方、冷害恒久対策に関連し、農家林造成事業の位置づけ及び推進方策、熊の被害対策に関連し、ハンターの出動手当、身分保障及び災害補償対策、木材企業の倒産防止対策並びに外資改善のため企業診断実施計画の有無、留萌港の整備計画推進についての考え方、札幌市所在の三角山採石事業問題に関連し、現行風致保安林指定制度に伴う民有林に対する補償措置等今後の解決についての見通し。

農務部及び農地開拓部の各所管におきましては、

救農事業に関し、道の単独事業として予算措置しなかつた理由、農地開拓部所管事業として実施した救農土木事業の内容、草地開発事業費及び土地改良事業費等の減額補正の理由と、その減額補正分を救農対策として繰り上げ実施することに対する考え方、救農土木事業の完全実施に対する見解、冷害恒久対策に関連し、基本方向案策定に際し、基本対策を含めた一連の対策としなかつた理由、今後必要に応じ諸対策を追加する意思の有無、農家林の造成推進に対する考え方及び造成計画に関し林務部と協議の有無とその内容、昭和40年度における冷害恒久対策推進の具体的方法、今次冷害による負債増加に対する負債整理対策と延滞金の延納措置、新開拓営農振興計画変更の有無。

教育委員会所管におきましては、

高等学校進学準備等のため、すい眠薬などを利用する生徒の防止指導対策並びに非行化に移行し易い中学浪人の指導対策、へき地教職員の優遇対策に関連し、へき地学校教職員中若年層該当者の教頭未発令の実態と理由、へき地手当支給基準の改訂計画、特に、本道独自のこれが改訂計画の有無、へき地校に電話を架設、又はモーターバイクを配置する等、へき地条件の改善方策に対する見解、学校統合により、へき地校でなくなつた学校の教職員で、へき地に所在する住宅から通勤する場合、これがへき地指定の可否についての見解、小、中、高等学校の危険校舎の現状と改築の基本方針、昭和40年度の高等学校入学間口増計画の有無、定時制高等学校の現状と将来の展望及び在り方についての考え方並びに高等学校通信教育課程の独立と校舎等設置に対する計画の有無、道立高等学校間における学校施設の格差是正対策、人口の急増する東駒内道営住宅団地内における義務教育学校新設計画の有無、冬期オリンピック招致の再度立起について、札幌市からの事前打合せの有無。

商工部及び労働部の各所管におきましては、

中小企業に対する冷害金融の措置状況並びに売掛金に対する実態調査の実施状況、中小企業に対する抜本的金融対策樹立に関する見解、物価値上げ抑制の抜本的対策

樹立に対する見解並びに指導方針、北海道木材化学株式会社再建に対する道の態度、沿岸貿易振興に対する考え方及び物産振興会の性格と実績並びに輸出入に関する窓口の一本化に対する考え方、樞東貿易公団との間で交互に行う見本市開催意思の有無、失業保険法改正問題に対する道の態度及び国の行政措置に基づく失業保険給付に関する道の行政指導方針、職業安定所における職員の配置状況、中卒の就職希望者に対する就職指導状況並びにこれが対策。

衛生部及び民生部の各所管におきましては、

衛生関係営業料金値上げ抑制の指導態勢、催眠剤等販売に対する規制措置実施の考え方及び青少年対策との関連、歯科医師の充足の観点から北大に歯学部を設置することの是非、青少年対策に関する機構一元化の考え方及びこれが予算編成の基本的考え方、長期療養者に対する見舞金支給の考え方及び生活保護世帯の収入認定緩和に対する考えの有無、健康保険等の赤字の現状把握と今後の赤字解消策、冷害対策に関連し、生活保護基準適用の適正化と現地調査員に対する指導態勢及び生活保護適用世帯の範囲並びに責任者を現地派遣の上実情調査を実施する考えの有無。

公安委員会所管におきましては、

冷害に伴う人身売買防止対策及びこれが資金源となる暴力団取締対策本部設置意思の有無。

総務部所管及び総括質疑におきましては、

39年度道税収入の見通し、公債償還額が市町村財政に与える影響と、これが健全財政維持の指導方針、39年度道財政収支の見通し、教職員退職手当に関し、当該年度に退職手当を計上する意思の有無、特定郵便局舎転賃債執行に対する見解、私学振興に関連し、私学振興基金に対し、明年度資金を貸付する意思及び高校急増施設拡充費に対し利子補給を続行する意思の有無並びに私学の授業料値上げに対する基本的見解、委員会の附帯意見の処理に対する考え方、冬期オリンピック札幌招致に関連し、誘致及び開催経費の道費負担についての見解、40年度高校入学間口増計画を修正する意思の有無及びこれが財源措置に対する見解、北海道木材化学株式会社再建の見通し並びに再建に対する道の基本的態度、冷害対策に関連し、当該予算編成上の基本的態度及び救農土木事業費予算措置方法についての考え方並びに被害農家に対し見舞金を支給する意思の有無、沿岸貿易振興に対する基本的見解。

等でありまして、関係議案はもとより道政各般にわたり熱心な論議がかわされた次第であります、この過程におきまして次に申し上げますような意見、すなわち、

- 1 救農事業の事故により、負傷、死亡した者など特殊な事情にある者に対しては、見舞金の支給、その他特別の援護措置を講ずべきである。

- 2 青少年対策に関連する事務及び予算執行の効率化を計るため、窓口の一元化など機構の整備について検討すべきである。

との強い意見があつた次第であります。

しかして、前にも申し上げましたとおり、質疑終結後各派代表者間におきまして、意見の調整をはかりました上、さきほどの委員会におきまして、議案第1号ないし第5号の昭和39年度補正予算関係議案は、いずれも原案可決と決定いたしました次第であります。

なお、本件に関しましては、次の意見、すなわち、

- 1 新規中学卒業者の就職轉旋に際しては、正常、かつ、適正に行なわれるよう、各職業安定所に対する指導を徹底すべきである。
  - 2 冷害農家に対する生活保護法の適用事務については更に指導を強化して、適正を期すべきである。
  - 3 道内各医療機関における医師不足の実情に鑑み、これが充足対策については、万全を期すべきである。
  - 4 中小企業に対する年度末の、つなぎ金融については、速やかにその実情を把握し、適切に対処すべきである。
- との付帯意見を付されたいという動議が提出せられ、全会一致、これを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました案件の審査経過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

## 決議・意見書

### 決議案第1号 (39.12.23原案可決)

#### 総合開発調査特別委員会調査経費に関する決議

右の議案を別紙のとおり提出いたします。

昭和39年12月23日

|     |         |        |
|-----|---------|--------|
| 提出者 | 北海道議会議員 | 二瓶 栄 吾 |
| 同   |         | 井口 勉 み |
| 同   |         | 山下 策 雄 |
| 同   |         | 高橋 賢 一 |
| 同   |         | 杉本 栄 一 |
| 同   |         | 中山 信一郎 |
| 同   |         | 大島 三 郎 |
| 同   |         | 糸川 章 夫 |
| 同   |         | 佐野 法 幸 |
| 同   |         | 倉増 新八郎 |
| 同   |         | 福島 新太郎 |
| 同   |         | 高田 治 郎 |
| 同   |         | 大沢 重太郎 |
| 同   |         | 新川 輝 隆 |

北海道議会議長 岩 本 政 一殿

### 決議案第1号

#### 総合開発調査特別委員会調査経費に関する決議

総合開発調査特別委員会の経費は、昭和39年4月3日決議の額と通じ、昭和39年度中 370 万円以内とする。

(理 由)

総合開発調査経費について、既定の額では不足を生ずるので、増額しようとするものである。

### 決議案第2号 (39.12.23原案可決)

#### 石炭対策特別委員会調査経費に関する決議

右の議案を別紙のとおり提出いたします。

昭和39年12月23日

|     |         |         |
|-----|---------|---------|
| 提出者 | 北海道議会議員 | 伊 藤 弘   |
| 同   |         | 湯 田 倉 治 |
| 同   |         | 山下 策 雄  |
| 同   |         | 佐藤 幹 夫  |
| 同   |         | 山 元 ミ ヨ |
| 同   |         | 渡 辺 浩   |
| 同   |         | 奈良 敬 藏  |
| 同   |         | 村 本 政 信 |
| 同   |         | 神 部 俊 郎 |
| 同   |         | 西島羽 米 一 |
| 同   |         | 津 川 直 一 |
| 同   |         | 武 藤 正 春 |
| 同   |         | 森 春 一   |

北海道議会議長 岩 本 政 一殿

### 決議案第2号

#### 石炭対策特別委員会調査経費に関する決議

石炭対策特別委員会の調査経費は、昭和39年4月3日決議の額と通じ、昭和39年度中 280 万円以内とする。

(理 由)

石炭対策に関する調査経費について、既定の額では不足を生ずるので、増額しようとするものである。

### 決議案第3号 (39.12.23原案可決)

#### 冷害対策特別委員会調査経費に関する決議

右の議案を別紙のとおり提出いたします。

昭和39年12月23日

|     |         |         |
|-----|---------|---------|
| 提出者 | 北海道議会議員 | 蒔 田 余 吉 |
| 同   |         | 坂 下 堯   |
| 同   |         | 亀 井 忠 衛 |
| 同   |         | 中 西 秀 利 |
| 同   |         | 尾 崎 勇   |
| 同   |         | 美 濃 政 市 |
| 同   |         | 竹 内 重 雄 |
| 同   |         | 西 島 順 三 |
| 同   |         | 渡 部 勇 雄 |
| 同   |         | 大 沢 重太郎 |
| 同   |         | 森 春 一   |
| 同   |         | 村 上 庄 一 |
| 同   |         | 林 利 博   |
| 同   |         | 堀 重 平   |
| 同   |         | 天 谷 平 信 |
| 同   |         | 山 田 勳   |
| 同   |         | 嶋 田 清 一 |

北海道議会議長 岩 本 政 一殿

### 決議案第3号

#### 冷害対策特別委員会調査経費に関する決議

冷害対策特別委員会の経費は、昭和39年9月24日決議の額と通じ、昭和39年度中 250 万円以内とする。

(理 由)

冷害対策調査経費について、既定の額では不足を生ずるので、増額しようとするものである。

### 意見案第1号 (39.12.24原案可決)

#### 労働者災害補償保険法改正に関する要望意見書

右の議案を別紙のとおり提出いたします。

昭和39年12月24日

|     |         |         |
|-----|---------|---------|
| 提出者 | 北海道議会議員 | 橋 本 清次郎 |
| 同   |         | 古 沢 泰 一 |
| 同   |         | 宮 本 義 勝 |
| 同   |         | 佐々木 盛   |
| 同   |         | 新 川 輝 隆 |

|   |         |
|---|---------|
| 同 | 本 間 義 孝 |
| 同 | 西島羽 米 一 |
| 同 | 佐 藤 幹 夫 |
| 同 | 伊 藤 弘   |
| 同 | 山 元 ミ ヨ |
| 同 | 岩 田 徳 治 |
| 同 | 大 島 三 郎 |
| 同 | 徳 中 祐 満 |

|           |
|-----------|
| 内閣総理大臣    |
| 大 蔵 大 臣   |
| 労 働 大 臣   |
| 衆 議 院 議 長 |
| 参 議 院 議 長 |

各通（国会には請願書として提出する。）

北海道議会議長 岩 本 政 一殿

#### 意見案第1号

##### 労働者災害補償保険法改正に関する要望意見書

政府においては、労働者災害補償保険法の改正を検討中と仄聞するが、業務上災害をこうむった労働者及びその家族に対する補償並びに援護措置は、現行法では十分でないので、これが補償、援護措置の拡充、強化をはかれるとともに、本道の積雪寒冷地域の特長事情を考慮の上、特に、次の諸点について改善措置を講ぜられるよう強く要望する。

なお、災害を未然に防止することは、補償に優越するものでありこれが予防についての法的措置を講ぜられたい。

#### 記

- 1 保険給付算定の基礎に寒冷地給、石炭手当などの給付を算入すること。
- 2 補装具、補助器などは療養費として取り扱うこと。
- 3 遺族補償給付については、その額を厚くし、特に、受給順位にとらわれず、要扶養者に支給すること。
- 4 給付の算定基礎としての消費者物価指数の変動に伴うスライド制を確立すること。
- 5 長期傷病者補償の給付における第1種、第2種の区分をなくし、休業補償を1年につき少なくとも290日分とすること。

#### （理 由）

近代産業の発展に伴ない、産業災害は増大の一途をたどっているところである。これにより、災害を受けた労働者及びその家族は、労働者災害補償保険法により、補償及び援護措置を受けているが、現行法では十分でなく、加えて、本道においては積雪寒冷地域という特殊事情により、燃料、衣服、住居等の支出の増を余儀なくされ、このため、ますます患者及び家族の生活がおびやかされる結果となっており、療養患者自身に憂うべき脅威を与えつつある。

よつて、政府においては、現行の労働者災害補償保険法の改正に当たつては、頭書の諸点につき、措置されるよう強く要望するものである。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 岩 本 政 一

## 議会運営委員会

○12月4日 午後1時55分、議会運営委員会室において開議、午後3時10分散会、委員長 天谷平信（自民）

- ① 委員長から、本日および明日の議運には、正副議長が出席できない旨、および本日から議運の部屋が変り、議席の配置を若干変更したので、現在着席のように席順を決定することについて了承を求め、異議なくそのことに決した。
- ② 書記から、各県の「議会運営に関する調」の内容を聴取の後、先般来協議中の議会運営に関する検討事項について引き続き審議。
- ③ 事務局長から、諸派の斎藤議員から11月24日づけで公明会が公明党になった旨届け出があつたこと、11月27日づけで人事委員会から、道職員の給与改訂の勧告があつたこと、について報告、ついで、議会運営に関する検討事項の現在までの審議経過について説明。
- ④ 各会派において、現在までに検討し、とりまとめたものについて、明日の議運に意見を提出してさらに検討を行なうことに決定。

○12月5日 午後1時38分、議会運営委員会室において開議、午後3時37分散会、委員長 天谷平信（自民）

- ① 総務部長から、第4回道議会定例会は、14日と考えているので了承願いたいとのべこれを了承。
- ② 各会派控室の女子職員処遇問題、議会食堂の衛生管理、議事堂建物の使用、特別職の退職金問題等について今次定例会の会期中に協議会の形で討議することを決定。
- ③ 総務部次長（能登）から、知事等の退職手当額算定の根拠及び方法ならびに特別功労金の算出方法について説明を聴取。
- ④ 事務局長から、知事等の退職手当に関する条例の制定について説明を聴取。
- ⑤ 議会運営に関する検討事項のうち保留されている事項について協議。
- ⑥ 次回委員会は、団体交渉との関係から、異例であるが、招集日当日の14日午前10時開催することに決定。

○12月14日 午前10時13分、議会運営委員会室において開議、午後4時55分散会、委員長 天谷平信（自民）

- ① 総務部長、財政課長から、今次定例会の提出案件について説明があり、午前10時43分休憩、午後2時43分

再開。

- ② 再開後、本会議は時間延長のみを行なうこととして、午後2時44分休憩、午後4時51分再開、会期および日程は12月14日から12月24日までの11日間とし、本日は知事の提案説明を行ない、15、16日は休会、17日再開して給与関係の議案について説明を聞き、代表質問に入ることとし、代表質問の順位は、社会、自民、公正クの順で行なうことに決定。

- ③ なお、本日の議事は、日程第1会議録署名議員の指定、日程第2会期決定の件、日程第3議案第1号ないし第12号を議題とし、知事から提案説明を行なうことを確認。

○12月17日 午前10時44分、議会運営委員会室において開議、午前10時51分散会、委員長 天谷平信（自民）

- ① 総務部長から、追加提出議案の内容について説明を聴取。
- ② 本日の議事は、日程第1陳情第472号ないし第475号については、第472号および第473号は、石炭対策特別委員会に、第474号および第475号は冷害対策特別委員会にそれぞれ付託する、日程第2議案第13号ないし第25号について、知事から提案説明を行ない、つぎの日程第3議案第1号ないし第12号と一括して議題とし、代表質問に入り、岡田議員（社）、奈良議員（自民）、津川議員（公正ク）の順序でこれを行なうことに決定。

○12月18日 午前10時20分、議会運営委員会室において開議、午後2時23分散会、委員長 天谷平信（自民）

本日の議事は、代表質問を続行し、奈良議員（自民）、津川議員（公正ク）が行なつた後、一般質問に入り、美濃議員（社）、諏訪田議員（社）、武藤議員（社）の順で行なうことになるが、一応本日は1人を予定し、残りの2人は明日行ない、質疑終了後予算委員会を設置することとする、また付託議案については、給与関係議案を先議して21日の本会議において議決する予定のもとに運営することを決定。

○12月19日 午前10時38分、議会運営委員会室において開議、午前10時45分散会、委員長 天谷平信（自民）

- ① 本日の議事は一般質問を続行し、終了後予算特別委員会を設置する。なお、設置の動議は社会党から提出することを決定。
- ② 議事課長から、議案の付託区分について説明を聴取し、異議なくこれを了承。

○12月21日 午前10時32分、議会運営委員会室において開議、午前10時37分散会、委員長 天谷 平 信  
(自民)

糸川予算特別委員長(社)から、給与関係議案の審議状況について報告をうけた後、本日の本会議は、給与関係議案を議決して散会、なお、残余の議案審議のため、明22日を休会とし、23、24の両日本会議を開くことに決定。

○12月23日 午後2時30分、議会運営委員会室において開議、午後6時27分散会、委員長 天谷 平 信  
(自民)

- ① 事務局長から、予算特別委員会の進行状況について報告があつた後、本会議は、時間延長のみを行なうことに決定して午後2時33分休憩、午後6時15分再開。
- ② 再開後、予算特別委員長から、同委員会の進行状況について報告。
- ③ 本日の議事は、冷害救援感謝決議を議長から提案して起立採決し、つぎに日程第1決議案第1号ないし第3号を議題とし、提案説明および委員会付託を省略して即決、日程第2陳情第489号および第490号(石炭対策関係)を石炭対策特別委員会に付託することに決定。

○12月24日 午後2時3分、議会運営委員会室において開議、午後2時10分散会、委員長 天谷 平 信  
(自民)

- ① 委員長から、決算委員会の正副委員長については、3派の議会対策委員長間で協議の結果、円満に意見の一致をみ、名簿の提出があつた旨の報告があり、異議なくこれを了承。
- ② 本日の議事は、日程第1予算特別委員会付託案件について同委員長の報告を受け、報告のとおり採決を行なう、日程第2各常任委員会付託案件について、建設、総務、厚生、文教林務の4委員会の順により、各委員長の報告を行い、報告のとおり議決することをはかる。日程第3報告第1号(決算関係)を議題とし、知事の提案説明を省略、決算特別委員会設置の動議を村上議員(公正ク)から提出し、委員会の設置と閉会中継続審査に付する旨をはかり、決定後委員の選任を指名により行ないこれに付託する。日程第4意見案第1号(労働者災害補償保険法改正要望関係)を議題とし、提案説明および委員会付託を省略して可決する。日程第5請願、陳情審査の件は、各特別委員長、常任委員長報告のとおり議決する。日程第6選挙管理委員会委員および同補充員の選挙の件については、現在の4委員はそのまま再任とし、補充員については、自民党の千葉軍治氏、社会党の笠井幸衛氏、および従来補充員であつ

た新党、古田島両氏をこの順で補充することとし、選挙の方法は、議長から指名推せんの方法によることとする。ついで、閉会中請願、陳情の継続審査および事務継続調査の件を申し出のとおりはかつて決定、全議案の審査を了することに決定。



## 常任委員会

### 総務委員会

○12月7日 午後1時40分、第3委員会室において開議、  
午後3時45分散会、委員長 深山和園(自民)

#### 一般議事

- ① 企画部長から、北海道公害対策審議会の答申について説明を聴取の後、

改発委員(社)から、今後の河川調査の推進計画、集中暖房の実施する時期、無煙燃料に対する見解、条例制定は騒音のみであるが、他の公害に対する見解および公害体制の強化に対する見解、

堀委員(社)から、公害対策審議会委員の道議会から5人すいせん依頼についてその後の経過はどうなっているか

等について質疑および意見があり、企画部長、総務部長から答弁、暫時休憩、午後2時35分再開、委員長から、堀委員の質問に対する答弁は、次回委員会までに意見をまとめ、再答弁を行なうこととなつた旨、了承を求めた。

- ② 人事委員会事務局長から、道職員給与勧告について説明を聴取の後、

河野委員(社)から、標準生計費と行政職給料表との開き、7等級制から8等級制になる場合、従来のいわゆる渡り昇格はどうなるか、14日議会招集と職員団体との交渉関係、給与改定に伴う財源措置の見通しについて質疑、人事委員長、総務部長、人事委員会事務局長から答弁。

- ③ 渡辺副委員長(社)から、標準生計費を高校卒の初任給決定のみに使うことに問題があること、従来の3等級の職員の中で不均衡なものがあるので、納得できるよう措置されたい、および職員団体との交渉は十分相互に納得のいくようにされたいこと、以上3点について議会開会までに検討されたい旨、要望。

○12月14日 午前11時12分、第1委員会室において開議、  
午前11時58分散会、委員長 深山和園(自民)

#### 一般議事

- ① 企画部長から、前回の委員会において堀委員(社)から質疑のあつた公害対策審議会の構成メンバーについて答弁、堀委員から再質疑、企画部長から答弁。

- ② 総務部長、財政課長から、第4回定例道議会の提出案件について説明を聴取。

○12月16日 午後1時20分、第1委員会室において開議、

午後1時25分散会、委員長 深山和園(自民)

#### 一般議事

総務部長から、追加提出案件について説明を聴取。

○12月23日 午後3時15分、第5委員会室において開議、  
午後3時42分散会、委員長 深山和園(自民)

#### 付託案件の審査

- ① 議案第9号(損害賠償の額の決定に関する件)を議題とし、道警察本部警務部長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第10号(北海道恩給条例等の一部を改正する条例案)を議題とし、職員厚生課長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第25号(函館市と上磯郡上磯町との境界変更の件)を議題とし、総務部次長(高橋)から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定、付託議案に対する委員長報告については、委員長一任とすることとした。

#### 一般議事

- ① 委員長から、当委員会付託の請願、陳情はなお精査を要し、閉会中の継続審査とすることについては、異議なくそのことに決定。
- ② つぎに、公害対策の件ほか1件を閉会中事務継続調査とすることについては、異議なくそのことに決定。

## 厚生委員会

○12月5日 午前11時50分、第5委員会室において開議、  
午後零時55分散会、委員長事故のため副委員長 中松英二(自民)

#### 請願、陳情の審査

##### 請願

第149号 社会福祉法人北海点字図書館に対し道費助成の件 (採択)

#### 一般議事

- ① 民生部長から、松山地方における学童のいかり就労対策について説明を聴取の後、奈良(自民)、青木(社)、井口(社)の各委員からなお一層の善処方について要望。

- ② 井口委員(社)から、日恵同盟の陳情に関し、知事年末見舞金の増額に対する見解、収入認定に対する配慮、生活保護基準引き上げ決定の時期および引き上げのば

について質疑、民生部長から答弁があつて、暫時休憩、(休憩中、井口委員(社)から、収入認定の問題については運用の中で温かい処置をするよう理事会の協議事

項とするよう要望があり、各委員これを了承)、午後零時25分再開。

- ③ 青木委員(社)から、道立白雲荘の廃止問題に関し、療養所閉鎖事実の有無、医師、看護婦、助産婦の充足対策および卒業生の実情、青少年対策に対する見解および機構改革との関係等について質疑、民生部長、医務課長、保健予防課長から答弁。
- ④ 副委員長から、明年度厚生関係予算折衝を実施することについては、異議なくそのことに決定、派遣時期、派遣委員等については、委員長一任とすることとした。

#### 本日聴取した陳情

小樽市血液銀行に採血車の配車等について

小樽市血液銀行長

生活保護基準の引き上げおよび年末見舞金の増額等について

日恵同盟道支部事務局長

○12月21日 午後2時25分、第4委員会室において開議、  
午後2時35分散会、委員長 神部俊郎(自民)

#### 付託案件の審査

議案第11号(北海道身体障害者更生相該所設置条例等の一部を改正する条例案)を議題とし、民生部長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

#### 請願、陳情の審査

##### 請 願

第151号 じん肺症患者援護対策の件 (採択)

##### 一 般 議 事

- ① 委員長から、昭和40年度厚生関係予算中央折衝については、異議なく実施することに決定、派遣時期、派遣委員等については委員長一任とすることとした。
- ② つぎに、当委員会付託の請願、陳情は、なお精査を要するものとし、今後付託を予定される分も含め、閉会中継続審査とすることを、異議なくそのことに決定。
- ③ 養老施設整備拡充の件ほか1件を閉会中事務継続調査とすることを、異議なくそのことに決定。

### 商工労働委員会

○12月12日 午前11時41分、第1委員会室において開議、  
午後零時52分散会、委員長 橋本清次郎(社)

##### 一 般 議 事

- ① 新川委員(社)から、冷害地における中小企業金融対策に関する中央折衝の経過について報告の後、  
佐藤委員(自民)から、商工中金に対する融資申込み

状況、

新川委員(社)から、各公庫に対する融資申込み状況、  
凶漁関係も対象とすべきでないか  
等について質疑、商工部長から答弁。

- ② 委員長から、季節労働者の失業保険金受給資格に関する中央折衝の経過について報告の後、

伊藤(弘)委員(自民)から、受給資格を得るための1カ月の就労日数について質疑、労働部長から答弁。

- ③ 労働部長から、本道における若年労働力確保方策および労災法改正問題について説明を聴取。

- ④ 商工部長から、木材化学会社再建問題に関するその後の経過について説明を聴取の後、

新川委員(社)から、管財人と再建委および技術委との協力関係、

佐藤委員(自民)から、再建計画作成に対する道の態勢、新製品キシリットの内容、

本間委員(社)から、再建に対する道独自の方針、管財人の報酬内容

等について質疑、意見および要望があり、商工部長から答弁。

○12月21日 午後2時33分、第5委員会室において開議、  
午後3時18分散会、委員長 橋本清次郎(社)

#### 請願、陳情の審査

##### 請 願

第164号 労働者災害補償保険法改正に関する要望の件 (採択)

##### 陳 情

第448号 函館市の水産加工業者に対する金融対策の件 (採択)

第459号 中小企業に対する金融対策樹立の件 (採択)

##### 一 般 議 事

- ① 商工部長から、中小企業の基本的振興策に関する道商工業振興審議会の間答申について説明を聴取。
- ② 委員長から、労災法改正に関する要望の件について中央折衝を行なうことを、異議なくそのことに決定、日程等については委員長一任とすることとした。
- ③ 残余の請願、陳情を閉会中継続審査とし、所管事務案件として、中小企業振興対策の件ほか2件を閉会中継続調査とすることについては、異議なくそのことに決定。

### 農 務 委 員 会

○12月7日 午後零時40分、第1委員会室において開議、  
午後3時30分散会、委員長 池田信孝(自民)

## 請願、陳情の審査

### 請 願

第 108 号 道有貸付種雄馬の貸付料免除の件

(保留)

### 一 般 議 事

① 委員長から、さきに39年産ビート糖の政府買入れ措置等に関する中央折衝を行なつたが、その後事態が急迫したので理事会を開いて協議の結果、11月20日から6日間嶋田(社)、天谷(自民)の両委員と委員長が派遣することに決定した旨をのべ了承を求めた、ついで折衝の経過については報告書の配付をもつて報告にかえる旨をのべ、異議なくこれを了承。

② 農務部長から、39年産ビート糖の政府買入れ措置に関する経過について説明を聴取の後、

美濃委員(社)から、道でみている1工場当たりの処理トン数、糖価の価格安定について、国内水準を一定にした場合に高い場合はどうか、来年はどうか、価格については物価上昇、賃金上昇をみる必要があるが部長の見解、明年の見通しをいつ頃とりまとめるか、希望種子の配付計画、本年の買入れ措置について104円の算定内容、原料価格のルール試算は生産者からの反げきがでるので出せないのではないか、

渡部副委員長(社)から、価格安定対策に関し、関税割当制度および価格差補給金制度に対する見解、明年度価格試算に対する部長の考え方、価格交渉に当り、本年の買入れの措置が原因でデットストックとなるかどうか、110円に算定した基礎

等について質疑、農務部長から答弁。

③ 農務部長から、39年冷害対策に関する要望事項および折衝の経過について説明を聴取の後、

糸川委員(社)から、救農土木事業に関し、秋のとり入れなどでもれた人等悪条件のものが就労していないが、これら地元の不満に対する今後のかまえ、結婚適令期の娘が職安を通じ本州方面に出稼ぎにでているが帰っていないのではないかと心配している人が多いが、暖かい指導と今後の対処するかまえ

について質疑、農務部長から答弁。

④ 美濃委員(社)から、酪農振興対策の構想、および進捗状況、牛乳不足払の構想に対する見解および取り扱う体制、酪農事業団を活用する構想、共同牧野の管理方式はどうかについて

について質疑、農務部長から答弁。

⑤ 委員長から、ビート工場の調査について配付の日程案のとおり実施することをはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員については委員長一任とすることとした。

○12月23日 午後3時56分、第4委員会室において開議、

午後4時55分散会、委員長 池田信孝(自民)

### 一 般 議 事

① 委員長から、網走、十勝両支庁管内のてん菜生産状況調査経過については、報告書の配付をもつて報告にかえる旨をのべ、異議なくこれを了承。

② つぎに、40年度農業関係国費予算について中央情勢から急きよ折衝する必要が生じ、理事会を開いて協議の結果、12月21日から本日まで委員長と諏訪田委員(社)を派遣することに決定した旨をのべ、了承を求めた、ついで中央折衝の経過について報告、農務部長から予算の概要について説明を聴取の後、

美濃委員(社)から、農地管理事業団の発足に関し、土地の取得について本道の場合はどうか、国内の甘味資源の価格対策として事業団を設けて瞬間タッチ方式で売り渡す構想があるが、これの反対する理由を

はあくしているか  
について質疑、農務部長から答弁、40年度予算折衝をさらに実施することをはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員等については委員長一任とすることとした。

③ 農務部長から、酪農振興基本対策の方向について説明を聴取。

④ 農務部長から、冷害対策のその後の経過について説明を聴取の後、冷害恒久対策の基本方向については冷害対策委員会の意向もあり、委員長と協議して時間をかけて審議することとした。

⑤ 当委員会付託の請願、陳情は、なお精査を要するものとし、いずれも閉会中継続審査とすることをはかり、異議なくそのことに決定、つぎに農業構造改善対策の件ほか2件を閉会中事務継続調査とすることをはかり、異議なくそのことに決定。

⑥ 黒松委員(自民)から、本年産米の予約数量、出荷量、時期別出荷量と青米混入数量について要求があつた。

本日聴取した陳情

家畜共済加入奨励金の交付および畑作共済制度の早期実現について

北見市農業共済組合長

## 建 設 委 員 会

○12月7日 午前11時59分、第4委員会室において開議、  
午後3時45分散会、委員長 桶谷利男(自民)

### 請願、陳情の審査

#### 請 願

第 84 号 奥尻村村道稲穂線、滝の瀬海岸線、滝の瀬2号線、宮津開拓2号線の一部、宮津開拓3号線を道道に認定の件 (採択)

- 第126号 小平村村道川上線及び川上、二又線を道  
道川上留萌線の延長として道道に認定の  
件 (採択)
- 第130号 2級国道網走、旭川線設置の件 (保留)
- 第131号 江差町地道費河川うぐい川治水工事促  
進並びに水害による損害賠償等措置の件  
(水害による損害賠償等を除き採択)
- 第137号 網走市、美幌町、女満別町地道道嘉多  
山、美幌線の改良工事並びに橋梁架換の  
件 (採択)
- 第144号 材木川水門に内水排除機新設の件  
(採択)
- 第156号 札幌市内の国鉄線高架に対する要望の件  
(採択)
- 陳 情
- 第224号 旭川市内道道瑞穂、旭川停車場線中東旭  
川2丁目以東東旭山間及び市道国鉄東旭  
川駅前道路舗装工事実施の件 (採択)
- 第284号 札幌第2国道の早期実現方要望の件  
(採択)
- 第291号 釧路管内における流水被害対策の件  
(採択)
- 第295号 道道喜茂別白老線を積寒法適用の件  
(採択)
- 第296号 主要道道函館、臼尻、森線(川汲地内)  
道路工事の早期完成の件 (採択)
- 第297号 函館空港拡張に伴う諸施設整備の件  
(採択)
- 第298号 道道山園、藻琴停車場線(東藻琴市街地  
から山園まで)の積寒法指定並びに改良  
整備の件 (採択)
- 第302号 奥尻村育苗地先海岸保全事業施行の件  
(採択)
- 第317号 札幌市内道道費河川真駒内川、精進川の改  
修及び厚別川改修工事早期完成の件  
(採択)
- 第318号 喜茂別市街道路の局部改良並びに側溝新  
設に対し助成の件 (採択)
- 第334号 天塩町地内準用河川雄信内川の全体改修  
事業早期竣工の件 (採択)
- 第340号 道道霧多布、厚岸線を積寒法に基づく道  
路として指定の件 (採択)
- 第341号 道道霧多布厚岸線中奔渡市街地内舗装工  
事実施の件 (採択)
- 第345号 準用河川音別川改修工事早期実施の件  
(採択)
- 第346号 音別町地内道道尺別、尺別停車場線並び  
に道道本流、音別停車場線(2線)の改

- 良舗装工事等実施の件 (採択)
- 第347号 音別町地内に砂防工事実施の件 (採択)
- 第380号 道道旭川、大雪山、層雲峡線の舗装並び  
に改良工事実施の件 (採択)
- 第387号 国策パルプ工業株式会社旭川工場放流廃  
水の件 (保留)
- 一 般 議 事
- ① 竹内委員(社)から、新河川法に関する中央折衝の経  
過について報告。
- ② 砂防災害課長から、函館地区豪雨災害対策について  
説明を聴取。
- ③ 土木部長から、河川敷地使用料減免に関する通達に  
ついて説明を聴取の後、  
竹内委員(社)から、牧草地の取り扱いはどうなるか、  
山田委員(社)から、減免の認定はどこでやるか  
等について質疑、土木部長から答弁。
- ④ 委員長から、道路新5カ年計画に関する件ほか2件  
に関し、中央折衝を行なうことについてはかり、異議  
なくそのことに決定、日程等については委員長に一任  
することとした。

○12月19日 午後1時15分、第5委員会室において開議、  
午後1時45分散会、委員長事故のため副委員  
長 尾崎 勇(自民)

#### 付託案件の審査

- ① 議案第6号(道路舗装事業に伴う地方公共団体の負  
担金に関する件)を議題とし、土木部長から説明を聴  
取の後、  
竹内委員(社)から、負担金に関する地元との話合い  
の姿勢、  
村本委員(社)から、負担金の総額  
等について質疑、意見および要望があり、土木部長か  
ら答弁があつて、異議なく原案のとおり可決すること  
に決定。
- ② 議案第7号(街路舗装事業に伴う地方公共団体の負  
担金に関する件)を議題とし、土木部長から説明を聴  
取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第8号(昭和39年度北海道特別低家賃住宅の管  
理に関する事務の事務委託に関する協議の件)を議題  
とし、建築部長から説明を聴取の後、異議なく原案の  
とおり可決することに決定、以上3件に関する委員長  
報告文案は委員長に一任することに決定。

#### 一 般 議 事

- ① 副委員長から、新河川法等に関する中央折衝の経過  
について報告。
- ② 副委員長から、残余の請願、陳情は閉会中継続審査  
とし、所管事務調査案件として、地方道整備促進の件ほ  
か3件を閉会中継続調査とすることについてはかり、

異議なくそのことに決定。

- ③ 土木部長から、主要地方道指定路線調書について説明を聴取。

## 農地開拓委員会

○12月4日 午後2時18分、第3委員会室において小委員会を開議、午後3時56分散会、小委員長 津川直一(公正ク)

- ① 小委員長から、農地開拓部における旅費支出問題について、本日は秘密会とすることをはかり、異議なくそのことに決定、午後2時19分休憩、午後3時54分再開。

- ② 本委員会に対する報告については、事務局において素案を作成すること、明25日小委員会を開会することを決めた。

○12月5日 午後零時、第3委員会室において小委員会を開議、午後4時41分散会、小委員長 津川直一(公正ク)

- ① 小委員長から、本委員会に対する報告の案文については休憩して協議する旨をのべ、午後零時2分休憩、(休憩中、案文について協議) 午後4時40分再開。

- ② 小委員長から、本日、報告の案文は結論がでないの、さらに、12月7日午前10時小委員会を開催する旨をのべた。

○12月7日 午前11時34分、第2委員会室において開議、午後5時散会、委員長 遠藤英吉(社)

### 一般議事

- ① 岡田委員(社)から、冷害対策ならびに開拓農家負債整理対策に関する中央折衝の経過について報告、ついで農地開拓部長から説明を聴取の後、

井野委員(社)から、来年度の再生産に必要な資金の確保と越冬のための生活資金対策、特に天災資金、自創資金の配分決定次第速かに地元へ交付方、開墾補助金等が12月30日前後でないという事実の認識、明年の営農設計に必要な保証資金についての道開連との折衝状況、および道の指導に対する見解、自創資金等が貸し出された場合、大半が償還金に充てられ、再生産資金にならないと危惧されることに対する行政的配慮、

林(利)委員(自民)から、自創資金の年内支払い見通し、離農戸数1,070戸の内容

について質疑および要望があり、農地開拓部長、開拓振興課長から答弁があつて、異議なく報告を了承、午後零時7分休憩、(休憩中、小委員会を開議) 午後2時

17分再開。

- ② 開拓振興課長から、39年度開拓附帯地農家林造成促進事業実施状況について説明を聴取の後、

津川副委員長(公正ク)から、本年度の申し込み状況について質疑、開拓振興課長から答弁。

- ③ 委員長から、農地開拓部における出張旅費支出問題について報告を求め、津川小委員長(公正ク)から、調査の経過および結果について報告があつた後、

大石委員(社)から、精算事務が行なわれているのに、その後精算に誤まりがあつたとして訂正した理由の明確化、旅費請求書作成事務において、まれには臨時職員による作成をしているというが、そのために請求事務に誤まりがあつたのかどうか、臨時職員を明記した理由、印鑑の処理にそろうがあつた内容、農地開発課長の出張命令に対する事後確認をしなかつた理由、「他の部局を調査の対象とすることはできないこと」の明確化、問題となつた職員2人の過失の内容、「旅費の扱い方が他の目的に流用または経理上の操作に使用せんとしたものかどうかは明らかとならない」ということは、それが権限上できないということか、そのような推測の中でこれらの文章をつけたかどうか、また、真相不明の点は止むを得ないとした考え方、および小委員会における論議の内容、

林(利)委員(自民)から、小委員会の報告について理事者側で改善する意思の有無、特に、出張命令と支出事務を所属する課長が行なうことの考え方

等について質疑および意見があり、津川小委員長(公正ク)、岡田(社)、清水(社)の各委員から応答、農地開拓部長、総務課長、農地開発課長から答弁、今後の改善策等について農地開拓部長の見解の表明があつた後、本件の今後の取り扱い等について岡田(社)、大石(社)、中西(自民)、二瓶(自民)、高橋(賢)(自民)、津川小委員長(公正ク)および林(利)(自民)の各委員間で、意見の交換があり、委員長から、小委員会を本日をもつて解散することををはかり、異議なくそのことに決定、なお、事後の対策等については、理事会においてその推移を検討して各委員に相談することとした。

- ④ 委員長から、明年度開発予算中央折衝について今後の情勢に応じて行なうことをはかり、異議なくそのことに決定、派遣時期、派遣委員等については委員長一任とすることとした。

- ⑤ 大石委員(社)から、ミサイル、ホーク搬入問題に関し、連絡機関設置に対する考え方、抜き打ち的搬入について道は知っていなかつたと思うかどうか、および今後の連絡調整に対する方策および考え方について質疑、農地開拓部長から答弁。

- ⑥ 農地開拓部長から、明年度開発予算問題について説明を聴取の後、

清水委員(社)から、開拓農協再建整備法に対する考え方、開協職員の管理費予算措置の検討結果の明示、森委員(自民)から、離農開拓者就職依頼の見通しおよびこの種調査の有無、

中西委員(自民)から、開協の管理費は天災資金で借りられないかどうか、

林(利)委員(自民)から、離農者の跡地処理方法等について質疑、農地開拓部長、開拓振興課長から答弁。

○12月7日 午後1時11分、第2委員会室において小委員会を開議、午後1時18分散会、小委員長 津川直一(公正ク)

① 小委員長から、本委員会に対する報告の案文について休憩して協議する旨をのべ、午後1時12分休憩、(休憩中案文について協議)午後1時15分再開。

② 小委員長から、休憩中協議した案文のとおり、本委員会に報告することについてはかり、異議なくそのことに決定。

○12月17日 午後零時33分、第1委員会室において開議、午後6時26分散会、委員長 遠藤英吉(社)

#### 一般議事

① 原田委員(自民)から、開拓農家負債整理対策に関する中央折衝の経過について報告があつた後、

清水委員(社)から、負債整理の具体的内容および見通し、開拓農協に対する道の対処方策、離農跡地処分に対する道の対策の明示、今次冷害により離農者が増加傾向にあるかどうか、

井野委員(社)から、指導協会の調査結果の報告文に関連して総括説明を削除した考え方、振興課長は、幹事会としてたてた文案を決裁したのかどうか、指導協会の調査結果を委員会に提出する意思、検討結果報告する用意の有無

等について質疑、意見および要求があり、原田委員(自民)から応答、農地開拓部長、開拓振興課長から答弁、本会議開会の都合により、午後1時37分休憩、午後5時42分再開、農地開拓部長から、休憩前、清水(社)、井野(社)の委員から質疑のあつた開協整備対策問題について答弁、清水委員から再質疑、農地開拓部長から答弁があつて異議なく報告を了承。

② 委員長から、開拓事業推進に関する件ほか1件を閉会中事務継続調査とすることならびに当委員会付託の請願、陳情は今後付託される分も含め、いずれも閉会中継続審査とすることについてはかり、異議なくそのことに決定。

③ つぎに、40年度開発予算について今後の中央情勢に応じ折衝することををはかり、異議なくそのことに決定、

派遣委員等については、委員長一任とすることとした。

④ 中西委員(自民)から、国営土地改良事業に関連し、かんばい事業の末端支配面積は300町歩までであるが、今後予算措置において500町歩とし、あとは道営とするということを知りたいかどうか、また、開発庁は大蔵省に対し一札を入れたと聞いているかどうか、

清水委員(社)から、500町歩に押し切られる危険性の有無、開発庁が一札を入れたのであれば重大であるが、部長の見解

について質疑、農地開拓部長から答弁、暫時休憩、午後6時25分再開、休憩中協議のとおり、本件は、農地開拓部の方で開発庁に確認の上、委員長に報告することおよびその必要に応じて委員会を開くこととした。

## 水産委員会

○12月5日 午前11時25分、第1委員会室において小委員会を開議、午後3時45分散会、小委員長 坂下 堯(社)

① 水産部長から、不漁状況と対策について説明を聴取の後、

砂原委員(社)から、凶漁対策の対象をどのような考え方で決定するか、その根拠、系統融資に対する道の利子補給措置、救漁土木事業の賃金算出の基礎、および応急失対事業の賃金との格差に対する所信、紋別市の水産加工業者対策に関し、雇用者に対する賃金未払い、切場資金、明年の着業資金等、現地の要望に対する今後の金融措置対策、

沖野委員(自民)から、既借入金に対する条件緩和および整促組合に対する考え方、ならびに利子補給に対する見解、紋別市の水産加工業者対策は水産部、商工部のいずれが中心になつてやるのか、

麻里委員(自民)から、系統金融から借りる場合末端業者の負担金利は6分で借りられるか、備荒貯金3,100万円は払い戻し可能な額か、漁連が利子補給することは困難であるが、信連が全額負担することに対する見解、12月議会でのどのようなことを考えているか、紋別市の水産加工業者金融対策を商工行政の中で考えられないか、早急に商工部で現地調査をして対策をたてるべきでないか、

杉本委員(自民)から、対象漁家数および金額等について質疑、意見および要望があり、水産部長、漁政課長、商政課長から答弁、今後の委員会の取り運び等協議のため、暫時休憩、午後3時43分再開。

② 小委員長から、凶漁対策小委員会は、本日をもつて解散することををはかり、異議なくそのことに決定、本委員会への報告については、小委員長一任とすること

とした。

○12月5日 午後4時38分、第1委員会室において開議、午後5時30分散会、委員長 高橋源次郎(自民)

#### 一般議事

① 坂下小委員長(社)から、凶漁対策について報告があった後、

川端委員(自民)から、水産加工業者が苦しんでいるのは紋別のみでなく函館等各所にもあり、地区の不公平のないよう対策をたてるべきでないか、

川村委員(社)から、道の利子補給6分は高くないか、5分5厘まで利子補給でないか

等について質疑、小委員長、麻里委員(自民)から応答、水産部長、漁政課長から、答弁があつて、異議なく本日もつて小委員会を解散することに決定。

② 川端委員(自民)から、ソ連政府は、さきにモスクワの日本大使館を通じて、日本海とオホーツク海のソ連船舶の指定航路筋に日本漁船が漁網を設置して航行を妨害していると抗議してきたが、国際海上衝突予防規則に違反する根拠もないので、政府に対し厳重に抗議するよう申し入れるべきでないか、

阿部委員(公正ク)から、通産省の韓国スルメ輸入発表に関し、凶漁のため困っている水産加工業者などに振り向けるよう働きかけられたい、また、本道の業者が輸入できるような措置はとれないか

等について質疑および要望があり、漁業調整課長、漁政課長から答弁。

#### 本日聴取した陳情

凶漁に伴う資金融資対策について

函館市水産加工業者

○12月23日 午後3時25分、第3委員会室において開議、午後4時51分散会、委員長 高橋源次郎(自民)

#### 請願、陳情の審査

##### 陳情

第440号 さんま凶漁対策の件 (採択)

第441号 こんぶ凶漁対策の件 (採択)

第442号 さんま漁業凶漁対策の件 (採択)

第443号 凶漁対策の件 (採択)

第444号 凶漁対策の件 (採択)

#### 一般議事

① 五十嵐委員(自民)から、沿岸漁業構造改善対策、砂原委員(社)から、40年度水産関係予算について、それぞれ中央折衝の経過について報告。

② 水産部長から、底曳禁止区域拡大問題について説明を聴取の後、

砂原委員(社)から、底曳、沿岸両方の調整に関する基本的な考え方、分配論か資源論か、

麻里委員(自民)から、今後のスケジュール、宗谷地区だけの案か、または北部日本海全体を対象にした禁止区域の案か、

沖野委員(自民)から、各漁業協同組合は、2年から総会に入るので、手際よく作業をしてほしい、

坂下副委員長(社)から、早急に道案の作成方等について質疑、および要望があり、漁業調整課長から答弁。

③ 沖野委員(自民)から、凶漁対策が全然進んでいない旨新聞報道されているが、今日まで道はどのような行政指導をしているか

について質疑、水産部長、漁政課長から答弁。

○12月24日 午前零時25分、第3委員会室において開議、午後零時37分散会、委員長 高橋源次郎(自民)

#### 一般議事

① 委員長から、当委員会付託の陳情はなお精査を要するため、閉会中継続審査とすることについてはかり、異議なくそのことに決定。

② 沿岸漁業振興対策の件を閉会中事務継続調査とすることについてはかり、異議なくそのことに決定。

## 文教林務委員会

○12月7日 午前11時27分、第5委員会室において開議、午後2時25分散会、委員長 道下美作(社)

#### 一般議事

① 高橋(辰)委員(自民)から、冷害対策および教職員の共済会館設置に関する中央折衝の経過について報告があり、異議なくこれを了承。

② 教育長から、さきに行なわれた高田委員(社)および林(謙)委員(自民)の質問で、答弁保留の道立高校から市町村立高校長へ転出になつた者に対する退職手当等および、9月28日の教職員組合の統一行動の実態について答弁。

③ 林務部長から、三角山採石事業問題についてその後の経過について報告があつた後、

池田(金)委員(自民)から、自然保護対策委員会の組織、三角山問題に類似の他府県の事例、昭昭40年度の高校生募集間口増設計画についての地元からの要望、

亀井委員(社)から、昭和40年度高校間口の増設をしないとする発表についての考え、農業構造改善事業推進について、道有林の解放計画、

高田委員(社)から、札幌市の人口増、生徒増のすう勢、およびこれに対する道の対策についての資料の提出方

等について、質疑および要求があり、教育長、林務部

長等から答弁。

## 特 別 委 員 会

○12月16日 午後1時15分、第5委員会室において開議、  
午後2時散会、委員長 道下美作(社)

### 一 般 議 事

- ① 高橋(辰)委員(自民)、亀井委員(社)から、道立移管希望高校の現地調査の経過について報告があり、異議なくこれを了承。
- ② 林務部長から、農業構造改善事業に伴う道有林野の活用計画等について説明を聴取の後、  
池田(金)委員(自民)から、保安林の指定基準について質疑、林務部長から答弁。
- ③ 委員長から、さきに要求のあつた札幌市における人口増、および生徒増、ならびにこれが対策等についての資料の提出は、理事者側から困難である旨の連絡があつたことをのべ、本件については、次期委員会で協議することをはかり、異議なくそのことに決定して午後休憩、午後1時45分再開。
- ④ 亀井委員(社)から、冷害対策に関し、高校生の授業料減免猶余の場合の奨学金の対象およびその取り扱いについて質疑、財務課長、教職員課長から答弁。

○12月22日 午後2時15分、第4委員会室において開議、  
午後3時15分散会、委員長 道下美作(社)

### 付託案件の審査

議案第12号(北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案)を議題とし、教育長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

### 一 般 議 事

- ① 昭和40年度文教林務関係予算の内示について、教育長、林務部長、財務課長から説明を聴取の後、  
池田(金)委員(自民)から、国立工専の本道関係分、林(謙)委員(自民)から、天の川かんばい問題に関し、教職員の訓告拒否の実態、江差高校長の80点以上とらなければ入学させないとするものの見解、江差中の偏向教育の実態、  
亀井委員(社)から、教頭管理職手当は関係規定が整備されて支給されているか  
等について質疑、教育長、教職員課長等から答弁。
- ② 当委員付託の請願、陳情は、今後付託を予定される分も含め、閉会中継続審査とすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ③ 学校施設整備拡充促進の件ほか1件を、閉会中事務継続調査とすることをはかり、異議なくそのことに決定。

## 総合開発調査特別委員会

○12月7日 午前10時50分、議会運営委員会室において開議、  
午後零時41分散会、委員長 二瓶栄吾(自民)

### 請願、陳情の審査

#### 陳 情

第388号 苫小牧港の共同管理の件 (保留)

- ① 井口副委員長(社)から、道開発審議会農林水産小委員会の経過について報告があり、異議なくこれを了承。
- ② 企画部長から、新産業都市建設基本計画のその後の経過について説明を聴取の後、  
新川委員(社)から、高速道路計画について質疑、企画部長から答弁。
- ③ 企画部長から、昭和40年度開発予算編成日程の見通しについて説明を聴取の後、  
福島委員(自民)から、文教施設に関し、国立青年の家の設置場所、  
堀田委員(自民)から、港湾整備の予算の見通しと、  
苫小牧、室蘭以外の港湾に対する整備方針  
等について質疑、企画部長から答弁。

○12月19日 午後1時15分、第3委員会室において開議、  
午後1時24分散会、委員長 二瓶栄吾(自民)

### 請願、陳情の審査

#### 陳 情

第388号 苫小牧港共同管理の件 (継続審査)

第389号 北海道港湾行政の件 (継続審査)

本委員会の調査経費追加決議案を提出することおよびその所要額は70万円とすることについては、異議なくそのことに決定。つぎに昭和40年度道開発予算折衝のため、3班に分け委員を派遣することおよび、派遣委員は理事会において協議のうえ決定することをはかり、異議なくそのことに決定。



## 石炭対策特別委員会

○12月23日 午後4時10分、第5委員会室において開議、  
午後4時43分散会、委員長 伊藤 弘(自民)

- ① 西島羽委員(社)から、縫製品工場サニー工業の倒産に関し、誘致した企業に対し、道は具体的に調査しているか、事後指導の必要性、賃金の内容について質疑、商工部長から答弁。
- ② 神部小委員長(自民)から、茅沼炭鉱閉山問題に関する経過および対策の結果について報告があり、異議なくこれを了承。
- ③ 委員長から、当委員会付託の陳情は、なお精査を要するものとし、閉会中継続審査とすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ③ つぎに、本委員会の調査経費をさらに30万円増額することををはかり、異議なくそのことに決定、ついで、明年度石炭関係国費予費、厚岸炭鉱の買い上げ等に関する中央折衝についてははかり、異議なく実施することに決定、派遣時期、派遣委員等については委員長一任とすることとした。
- ④ 湯田副委員長(社)から、産炭地振興対策でできた工場の現況資料の提出方、  
西島羽委員(社)から、経営状況、労働状態の調査方、石炭鉱業調査団の答申に関連して、不足な分についての要望が必要であるが部長の考え方  
について質疑および要求があり、商工部長から答弁。

本日聴取した陳情

サニー工業会社の再建方について

サニー工業業務部長

## 冷害対策特別委員会

○12月8日 午前11時13分、第1委員会室において開議、  
午後4時35分散会、委員長 岸田余吉(自民)

- ① 委員長から、さきに2班に分かれ実施した冷害対策中央折衝の経過については、報告書の配付をもつて報告にかえる旨をのべ、異議なくこれを了承。
- ② つぎに、その後の状況について農務部長、農地開拓部長、商工部長、教育長、森林計画課長、国民年金課長から説明を聴取の後、

美濃委員(社)から、自作農維持資金20億円を追加要請したことに関連して、年内に交付の見通しおよび80億円との関連性、第2次救農事業の配分状況、自作農維持資金40億円の内訳、措置要綱に基づいた実施内容の経過、

竹内委員(社)から、天災融資法の改正に関し、利率、

償還延期については特例法の中で措置される見込みの有無、自創資金は農林漁業資金と同様に延期措置が決まったか、飼料問題に関し、農林省が175円として大蔵省に折衝している考え方、67,800梱について農林省はどう考えているか、

渡部委員(社)から、共済金の年内支払いの可能性、税の減免措置に関し、来年度の歳入欠かんに対する特交による補てんの見通し、中小企業融資対策に関し、国、道とも同じ条件で融資するか、制限措置の有無、冷細商人に対し資金調査が行なわれ、恩典に浴する仕組みになつているか、自作農維持資金の追加要請の明確化、

山田委員(社)から、救農事業に関し、町村が独自で行なうところとその総額、天災資金に関し、30万円となつた場合、150億円との関連、基礎が違い額が違ってくる場合の措置

等について質疑および意見があり、農地開拓部長、農務部長、商工部長、総務部長、総務部次長から答弁、午後零時15分休憩、午後1時55分再開、休憩前の質疑に対し、農政課長、農地開拓部長から答弁があつた後、

美濃委員(社)から、自作農維持資金の開拓者の配分状況、延滞のある組合に対する措置、開拓農協の政府資金プロパーの借入れが行なわれており、組合が立替え償還されているものもあるが、これに対する対策および資金調達に対する考え方、農林中金に対する対策、中小企業金融に関し、15億円の預託の流れが円滑に行なわれていないことに対する見解、開拓金融に関し、利子補給、損失補償の考えの有無、本資金がでない場合の対策、350戸の離農措置、

渡部委員(社)から、学校給食に関し、給食の対象とならないものに対する取り扱い、生活保護適用をうけた人数および要望者数、自作農維持資金の配分に関連して、相保証の緩和措置、末端配分の場合どのようなケースが一番望ましいか、農協の未加入の数、資金要望の数および貸付対象の有無、救農土木事業の第2次配分に関し、2か町村は事業はいらないとのこととで辞退した恰好になつて配分になつていないが、これに対する見解、賃金収入のアンバランス、1戸当り4万円の収入計画が最終的に行なわれるかどうか、恒久対策と予算要求との関係、

嶋田委員(社)から、救農土木事業費の配分のない支庁は、予算はつかかなかつたかどうか、中には道50万円、町村100万円という逆などもあるがその事情、被害農家に対する飯米配給の方法、価格差の補給に対する考え方、

亀井委員(社)から、生活保護法の適用に関し、これを取り扱い状況および適用世帯の増加に対する食い違い、離農対策に関し、支庁に割り当てのある事情、離

農適格者に対する考え方、就職あつせんの具体的計画および見通し、救農土木事業の推進状況のはあく方、土地改良事業の実施に対する見解、米の配給量不足状態のはあくの有無、旧価格で売ることの指示はできないか、

堀委員(社)から、義捐金品の実情、恒久対策を早期に樹立する必要性から、次回委員会まで知事の出席を求め、その考え方を聞きたいのでそのように取り計らわれたい

等について質疑、意見および要望があり、農地開拓部長、商政課長補佐、開拓振興課長、教育長、国民年金課長、農務部長、農政課長、職業安定課長から答弁、委員長から応答。

- ③ 委員長から、天災融資法の一部改正に関する中央折衝についてはかり、異議なく実施することに決定。

○12月21日 午前11時18分、第5委員会室において開議、午後零時37分散会、委員長 蒔田余吉(自民)

- ① 委員長から、冷害対策に関する中央折衝の経過について報告、ついでその後の経過について農務部長から説明を聴取。
- ② 渡部委員(社)から、岩見沢、美深等で救農土木事業により負傷した旨新聞報道されているが、その経過および措置、事業主体、責任者の所在、労災保険に加入していない者に対する救済の方途、保険の期間、掛金、亀井委員(社)から、早期に労災保険加入の実態をはあくし間違いないようにしてほしい
- 等について質疑および要望があり、農政課長から答弁。
- ③ 委員長から、請願、陳情の審査については、一応本日は保留とし、内容を検討してもらう旨をのべた。
- ④ 農務部長から、恒久対策の基本方向について説明を聴取の後、

堀委員(社)から、畑作農業の将来はどうなるかということを明確にする必要があるが、基本方向を打ち出した考え方、議会の考え方を聞いてやる考えの有無、天谷委員(自民)から、本委員会を存続するかどうか決定してほしい

等について質疑および意見があり、委員長から応答、農務部長から答弁、暫時休憩、午後零時36分再開して、直ちに散会。

○12月22日 午後2時28分、第5委員会室において開議、午後2時32分散会、委員長 蒔田余吉(自民)

- ① 委員長から、当委員会付託の請願、陳情はなお精査を要するものとし、いずれも閉会中継続審査とすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 堀委員(社)から、天皇、皇后両陛下からの御救恤金に対しては御礼言上の決議を行なつたが、なお各方面

から義捐金品が送られてきているので、これらに対する感謝決議が必要と思うのでよろしく取り計らいたい旨意見があり、委員長から応答。

## 予算特別委員会

○12月19日 午後零時48分、第5委員会室において開議、午後6時34分散会、委員長 糸川章夫(社)

### 正副委員長の互選

- ① 岩田臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法についてはかり、谷口委員(自民)の動議により指名推せんの方法により、糸川委員(社)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、谷口委員(自民)の動議により指名推せんの方法により、倉増委員(公正ク)を副委員長に選出、午後零時58分休憩、午後2時37分再開。(委員会室を第1委員会室に変更)
- ③ 委員長から、付託案件の審査日程について議案第1号ないし第5号、第13号ないし第24号のうち、給与関係議案第13号ないし第24号を先議することについてはかり、異議なくそのことに決定。
- ④ 委員会の議事運営について、質疑の方法は原則として一括質疑とし、発言の順位は通告順によることについてはかり、異議なくそのことに決定。

議案第13号ないし第24号に対する質疑に入り、

- ① 渡辺(浩)委員(社)から、道職員の給与改定勧告に関し、新3等級設定に伴い、「困難な業務を処理する職員」云々と表面にあらわした考え方、および運営面で解決することに対する見解、標準生計費を初任級決定のみに使用することについての考え方および家族構成等を勘案することに対する見解、給与改定に伴う財源問題に関し、本年度決算の見通しおよび38年度黒字決算との関連性、市町村に対する財源措置および指導方針、国のとつた財源措置の内容、道税を計上せず繰越金にたよつた考え方、道税の収入見込みと歳入予算見積りに対する見解、特別交付税収入見積額、本年度の不用額の見通し、職員住宅問題に関し、住宅手当支給の設定する意思の有無、公宅整備の充足に対する見解等について、(関連して、本間委員(社)から、行政職給料表と医療職給料表との矛盾および格差是正に対する見解、公安職給料表中1等級と2等級との格差解消に対する意思の有無、給与体系上均衡を欠いているところについて、今後の対処するかまえ、38年度決算が黒字に転化したことに関連して、経済の上昇は根本的にあやまりでないか、不要不急の経費の削減と当初予算編成に対する考え方、税客体の完全予測に対する見解、特別交付金の過少評価および特交確保に対する見解等

について)

青木委員(社)から、地方財政上給与費に対する基本的な考え方、国家公務員に準じた給与勧告に対する見解、明年度の給与費予算編成に対する考え方、および39年度財政規模の見通しについて、

河野委員(社)から、新給料表の実施に関し、単位職場に生ずる格差および矛盾の克服方策、新3等級と新4等級の取り扱い方針、困難な業務を判定する機関、従来のいわゆる渡り昇格等職員の既得権の処理に対する考え方、中級職員の給与格差は正、暫定手当の本俸繰り入れのその後の経過および今後の取り扱い等について質疑、意見および要望があり、人事委員長、総務部長、総務部次長(高橋)から答弁があつて、議案第13号ないし第24号に対する質疑を終結、ついで委員長から、意見の調整について各派代表者会議において行なうことをはかり、異議なくそのことに決定、午後5時12分休憩、午後6時30分再開。

- ② 委員長から、意見調整の結果について報告があり、議案第13号ないし第24号を原案可決とすることについてははかり、異議なくそのことに決定。
- ③ 竹内委員(社)から、委員長報告の中につぎの意見「給料表中、新3等級の運営については、任命権者と協議して合理的な運営をはかるべきである。」を挿入されたい旨の動議を提出、賛成あつて動議成立、これをはかつて異議なくそのことに決定。
- ④ 委員長報告については、委員長一任とすることを決定。

○12月21日 午前11時37分、第1委員会室において開議、  
午後5時9分散会、委員長 糸川章夫(社)

議案第1号ないし第5号を一括議題とし、

- ① 土木部および建築部所管に対する質疑に入り、  
武藤委員(社)から、救農土木事業にかかわる事故発生の原因、および関係市町村に対する技術指導ならびに今後の事故防止対策について、

美濃委員(社)から、(1)河川改修事業に関し、新河川法施行に伴う1級河川指定の見通しおよび北海道特例の存続の見通し、原始河川改修の構想および昭和40年度の実施予算措置、国の治水5カ年計画の推進状況、災害復旧計画および各河川の計画洪水量の測定と対応性の確立、(2)酪農振興に関し、酪農道整備の現況および総合的対策に対する見解等について、

竹内委員(社)から、救漁土木事業に関し、市町村に対する道費助成の内容、および事業実施に対する考え方について、

青木委員(社)から、公営住宅割増賃料徴収の問題に関し、公営住宅法における割増賃料徴収規定は任意規定かどうか、立法趣旨は目的税的性格を有していると

考えるかどうか、割増賃料を国の示す最高基準に定めた理由および道条例を改正する意思の有無、本年度における割増賃料収入の見込額、割増賃料を一般財源に繰り入れることに対する見解、および維持修繕費用に充当する考え方、低所得者住宅解消計画、高額所得者の退居等今後の指導に対する見解について

質疑および意見があり、土木部長、建築部次長、住宅課長補佐から答弁があつて、土木部および建築部所管に対する質疑を終結、午後1時24分休憩、午後2時25分再開。

- ② 企画部および林務部所管に対する質疑に入り、

竹内委員(社)から、(1)空港整備問題に関し、釧路空港の霧による欠航対策および検討結果の明示、第2期道総合開発計画にもとづく札幌周辺における新規民間空港建設に関する現在の考え方、および今後の見通し、(2)港湾問題に関し、釧路西港の建設にまつわる問題解決のための指導に対する考え方および今後の解決策等について、

美濃委員(社)から、冷害恒久対策に関連して、農家林造成事業の打ち出し方および位置付け、ならびに今後の推進方策、根剝地帯における基本方針、熊被害に関し、今後の熊の捕かく対策およびハンターの出動手当、身分保障に対する見解について、

青木委員(社)から、(1)木材企業の倒産防止対策に関し、倒産件数、負債額の見通し、抜本的な木材企業の体質改善、企業診断実施に対する対策と道の姿勢、留萌港の整備に伴う、ソ連材の輸入と、これ等木材の高度利用化と道の指導対策、(2)保安林の運営に関し、札幌市所在三角山に対する今後の処理方針および道の姿勢等について

質疑、意見および要望があり、企画部長、林務部長から答弁があつて、企画部および林務部所管に対する質疑を終結、午後3時57分休憩、午後4時再開。

- ③ 農務部および農地開拓部所管に対する質疑に入り、

渡辺(浩)委員(社)から、救農土木事業に関し、道の単独事業として予算措置しなかつた理由、草地開発事業費および土地改良事業費等の減額補正の理由、ならびにその減額補正分を救農対策として繰り上げ実施することに対する考え方、救農土木事業に対する農地開拓部として対処すべき考え方、特に土地改良事業実施の要望が多いことに対し道として実施する要素の有無について、

美濃委員(社)から、冷害恒久対策に関連して、基本方向案策定に際し、基本対策等を含めた一連のものとしなかつた理由、今後必要に応じ諸対策を追加する意思の有無、農家林の造成推進に対する考え方および開拓不用地、未利用地等造成計画に関し、林務部との協議内容、昭和40年度における冷害恒久対策推進のため

の具体的方策、今次冷害による負債増加に対する負債整理対策および延滞金の延納措置、新開拓営農振興計画変更の有無について

質疑、意見および要望があり、農務部長、農地開拓部長から答弁があつて、農務部および農地開拓部所管に対する質疑を終結。

○12月22日 午前10時40分、第1委員会室において開議、  
午後6時5分散会、委員長 糸川章夫(社)

① 教育委員会所管に対する質疑に入り、

青木委員(社)から、(1)高等学校進学準備等のため、すい眠薬などを使用する生徒の増加傾向に対し、これが防止指導対策等について、

大石委員(社)から、へき地教職員の優遇問題に関連して、へき地学校教職員中若年層該当者の教頭未発令事実の有無およびその理由、へき地手当支給基準の改訂に対する見解、特に、本道独自の改訂計画の有無、へき地給の矛盾解消と運用に対する見解、へき地校に対し電話を架設し、モーターバイク等の配置する等をして、条件の改善を図ることに対する見解、学校統合により、へき地校でなくなった学校の教職員で、へき地に所在する住宅から通勤する場合のへき地指定の可否等について、

亀井委員(社)から、(1)道内小、中、高等学校の危険校舎の現況および明年度の改築計画、(2)昭和40年度の高校入学間口増計画の有無、(3)定時制高校の現状とあり方、将来の見通し、高校通信教育課程の独立校舎等設置に対する見解等について、

本間委員(社)から、(1)道立高等学校間における学校施設格差は正に対する見解、(2)道営真駒内団地内における義務教育学校新設計画の有無、(3)札幌市の冬季オリンピック招致再立候補問題に関し、札幌市からの事前打合わせの有無、今後の対処すべきかまゝ等について

質疑、意見および要望があり、教育長、財務課長、教職員課長から答弁があつて、教育委員会所管に対する質疑を終結、午後零時49分休憩、午後2時7分再開。

② 商工部および労働部所管に対する質疑に入り、

美濃委員(社)から、冷害対策に関し、金融措置は目的どおり完全に行なわれているか、どうか、年内に完了する適正な方法、制度融資によつて措置されない借り入れ金の調査とその段取りについて、

青木委員(社)から、(1)中小企業に対する抜本的金融対策の樹立、中小企業の体質改善に対する推進方策、中小企業対策と取り組む独立機構の組織化に対する見解、(2)物価問題に関し、物価値上げ抑制の抜本的対策樹立に対する見解および指導方針、(3)木材化学株式会社再建に対する道の姿勢および再開計画等について、

岡田委員(社)から、対岸貿易振興問題に関し、物産振興会の性格および実績、窓口業務の一本化に対する見解、海外市場調査にいつたものの報告の状況、海外市場調査の今日までの内容、対ソ貿易の実績、極東貿易公団との間で交互に見本市を開催する意思の有無、オレゴン州知事一行の来道に際し、商談の有無、道とオレゴン州との今日までの貿易実績、玉ねぎの取り引きが不調に終わつた理由等について、

亀井委員(社)から、失業保険法の改正に関連して、今回、法改正を見合せたことについて今後道はどのような方針で取り組んでいくか、国の行政措置にもとづく失業保険給付の制限に対する道の行政指導方針、職業安定所における職員の配置状況、道内外求人業種別内容等について、

佐野委員(社)から、明年度の中学卒業者雇用のすう勢、就職希望者に対する指導状況、特に冷害地等貧困地域において中卒者を低賃金で雇用しようという近代的人買いの傾向があることについて道の指導に欠かぬはないか、進学希望をおさえているような事例の有無、新規卒業者の職業紹介のためとして求人者が中学校を訪問していることに対する見解、本州へ行つた場合の賃金構成、就職に対し、金品がつくことに対する見解等について

質疑、意見および要望があり、商工部長、労働部長、教育長から答弁があつて商工部および労働部所管に対する質疑を終結、午後5時22分休憩、午後5時25分再開。

③ 衛生部所管に対する質疑に入り、

青木委員(社)から、(1)入浴料金、理髪、クリーニング料金等の値上げ抑制のその後の措置、今後の指導態勢、(2)すい眠剤等の販売に対する規制措置実施の考え方および青少年対策との関連性、(3)歯科医師充足の観点から、北大に歯学部を設置することの是非等について

質疑および意見があり、衛生部長から答弁があつて、衛生部所管に対する質疑を終結。

○12月23日 午前11時10分、第1委員会室において開議、  
午後9時58分散会、委員長 糸川章夫(社)

① 民生部所管に対する質疑に入り、

青木委員(社)から、(1)青少年対策に関する機構一元化の考え方およびこれが予算編成の基本的見解、(2)健康保険等の赤字の現状把握と今後の赤字解消策、長期療養者に対する見舞金の増額および明年度予算措置の見通し等について、

美濃委員(社)から、冷害農家に対する生活保護法の適用に関し、現在までとつてきた措置、適用冷害農家戸数、及び今後増加するであろう対象農家対策、現地

調査員による評価の適正化、生活保護適用世帯の範囲および責任者を現地に派遣し、実情調査を実施する考えの有無等について

質疑および意見があり、民生部長、保険課長から答弁があつて、民生部所管に対する質疑を終結、午後零時25分休憩、午後零時28分再開。

② 公安委員会所管に対する質疑に入り、

武藤委員(社)から、今次冷害に伴い、人身売買の事例および人権無視といった事例が多発しているが、これが防止対策並びにこれが資金源となる暴力団取締対策及び対策本部設置意思の有無等について

質疑、意見および要望があり、道警察本部長、同防犯部長から答弁があつて、公安委員会所管に対する質疑を終結、午後零時54分休憩、午後3時4分再開。

③ 総務部所管に対する質疑に入り、

青木委員(社)から、39年度道税収入の見通し、法人道民税、事業税、不動産取得税の調定進捗率の下回つた理由および健全財政との関係、不納欠損額の見通し、赤字市町村の解消方策、公債償還額の市町村財政にあたる影響等について、

本間委員(社)から、地方自治財政に対する今後の方策および指導ならびに委任事務の整備に対する見解について、

渡辺(浩)委員(社)から、(1)冷害関係予算の編成に対する基本的態度および救農土木事業費予算措置に対する考え方、39年度道税収支決算の見込み、今後の起債枠、増枠の見通し、(2)道職員勧奨退職手当の繰り越しに対する見解、(3)特定郵便局舎転貸資金に関し、当該予算の議決後、年度末にどのように事業を執行するか、12月議会で予算措置しなければならない理由等について、

岡田委員(社)から、(1)私学基金協会に対する明年度予算措置の見通し、今後の道の利子補給に対する考え方、私学授業料値上げに対する基本的見解および全国総務部長会議における結論、幼稚園に対する道費助成の考え方、(2)議会の附帯意見の尊重およびこれが処理に対する見解等について

質疑、意見および要望があり、総務部長から答弁があつて、総務部所管に対する質疑を終結、午後5時25分休憩、午後7時34分再開。

④ 知事に対する総括質疑に入り、

本間委員(社)から、札幌市の冬季オリンピック再立候補問題に関し、これが事前にどのような話し合いが行なわれたか、誘致に伴う経費の捻出および道費負担に対する見解、国の財政的援助の裏付けについて、

亀井委員(社)から、昭和40年度の高校間口増にふみ切ることに対する教育委員長の見解および予算措置に対する知事の見解について、

青木委員(社)から、北海道木材化学株式会社 of 社の再建に対する道の積極的姿勢および見解ならびに再建の目途について、

渡辺(浩)委員(社)から、冷害予算編成にあつた基本的考え方、財源措置状況並びに現状の財政状況からして、この予算措置は満足なものであつたかどうか、被害農民の要望した救農事業を起こさなかつた理由および見解、生活保護世帯に転落しつつある農家に対し、知事交際費等で見舞金を支給することに対する所見について、

岡田委員(社)から、対岸貿易問題に関し、北海道貿易振興審議会の活用、北海道貿易物産振興会の窓口一本化に対する見解、海外市場派遣調査員の少ない理由および知事の消極的態度との関係、知事の政治的支援体制の明示、極東貿易公団開設に伴い、貿易調査団派遣意思の有無等について

質疑、意見および要望があり、知事、教育委員長から答弁があつて、総括質疑を終結。

⑤ 委員長から、意見の調整については、各派代表者会議において行なうことについてはかり、異議なくそのことに決定。

○12月24日 午後1時55分、第1委員会室において開議、  
午後1時59分散会、委員長 糸川章夫(社)

① 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果について報告があり、ついで議案第1号ないし第5号を原案のとおり可決することについてはかり、異議なくそのことに決定。

② 竹内委員(社)から、委員長報告の中につぎの意見

- 「1 新規中学卒業者の就職あつせんに際しては、正常、かつ、適正に行なわれるよう各職業安定所に対する指導を徹底すべきである。
- 2 冷害農家に対する生活保護法の適用事務については更に指導を強化して適正を期すべきである。
- 3 道内各医療機関における医師不足の実情に鑑み、これが充足対策について万全を期すべきである。
- 4 中小企業に対する年度末のつなぎ金融については、速かにその実情を把握し、適切に対処すべきである。」

を挿入されたい旨の動議を提出、賛成あつて動議成立、これをはかつて異議なくそのことに決定。

③ 委員長報告については、委員長一任とすることに決定、委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあつた。



## 全国都道府県議会議長会

○12月4日 都道府県会館において幹事会を開催、つぎの事項について協議決定した。

- 1 第44回定例会議決事項の整理統合および処理について
- 2 自治功労者の追加表彰について
- 3 昭和40年度本会予算の大綱について
- 4 都道府県会館の増築に伴う本会事務室等の増設について

## 豪雪災害対策協議会

○12月2日 全共連ビルにおいて役員会を開催、会長（新潟県議会議長）からあいさつの後、和泉経済企画庁参事官から、昭和40年度豪雪地帯対策事業予算予算編成の考え方について説明を聴いた後、協議に入り、「豪雪地帯対策の推進について」の要望を決定し、関係方面に要望することとした。

## 新産業都市建設促進道県議会協議会

○12月3日 都道府県会館において協議会を開催、まず代表世話人岡山県議長から今次全国大会を開催するにいたった経過を説明、全員了承したのち、大会の座長団に岡山県議長、地元側にあいさつを、新潟県議長とすることを決定、その後、本協議会の分担金について協議した。

○12月3日 都道府県会館大会議室において、全国新産業都市建設促進大会を開催、つぎの事項について要望決議を行ない、関係方面に要望することとした。

- 1 国庫による特別の財政援助措置に関する立法化を政府提案により今国会において是非行なわれたい。
- 2 国家資金による公共投資を重点的に行なわれたい。
- 3 地方債の枠を拡大し、政府資金の充当率を増大するとともに、これが運用について特別の配慮を行なわれたい。

- 1 ○道本年度の道道除雪計画を発表、総延長4,031キロ。
- 3 ○会計検査院、昭和38年度決算検査報告を発表、不当事事件数616件、23億2,000万円。
- 4 ○道公害対策審議会第1次答申書「公害防止問題に対する恒久対策の確立」を知事に提出。
- 6 ○厚生省、国保の家族7割給付最終実施計画をまとめる、本道は71市町村。
- 7 ○補正予算案衆院を通過。  
○石炭鉱業調査団、産炭地振興について答申案をまとめる、中核企業を誘致、政府の特別配慮を望む。
- 8 ○政府、新物価対策をまとめる、安定成長など10項目。  
○道、39年度北海道私学教育功績者を決める、島谷鉄五郎氏ら5人。
- 10 ○政務次官会議、同会議内に北海道冷害対策小委員会を設置することに決定。
- 11 ○経済企画庁、38年度の国民所得白書を発表、国民総生産22兆4,500億円、1人当たり18万9,000円、実質成長率12.1%。  
○道開拓審議会営農部会、475戸の離農を承認、残り375戸については1月中旬頃決定の見込み。
- 12 ○道教育庁、「公立学校教育費白書」を発表、児童1人当たり教育費38,000円。
- 14 ○皇太子ご夫妻、タイ国親善ご訪問のため出発。  
○厚生省、本道冷害の調査結果をまとめる、国保の保険料減免に財政措置が必要。  
○第4回定例道議会開会、会期12月24日まで11日間。
- 15 ○参議院、39年度補正予算可決成立。  
○政府、北方協会会長に町村知事、副会長に川端道水産会会長を再任。
- 16 ○政府、明年度経済見通し政府原案まとめる、実質成長7.5%。
- 17 ○政府、日銀21代総裁に宇佐美洵氏を発令。  
○道農務部、冷害恒久対策に対する要望をまとめる、草地開発など4項目。  
○道商工部、道内年末中小金融強化を発表、総ワク35億円（5億円追加）、期間も5日間延長（25日まで）。  
○道警本部、本年度内交通事故を発表、ついに史上最高11,734件を記録。
- 18 ○第47臨時国会終わる。  
○農林省、普通米の改定価格を発表、本道は1,105円（10キロ）。  
○道貿易館、38年の本道貿易概況を発表、輸出367億円、前年比22%増。
- 21 ○第48通常国会召集。  
○札幌市、冬季五輪に再立候補提案。

- 22 ○道選管、本道の基本選挙人名簿を公表、291万4,028人、昨年に比べ30,647人増。  
○農林省道内統計調査事務所、ことしの道産豆類実収高を公表、小豆、大豆は3分作、31年冷害より悪い。
- 23 ○総理府統計局、わが国の推計総人口を公表、9,719万人、世界第7位。  
○道農務部、酪農振興の基本方向を決める、営農類型を設定、生産者の共同集乳促進、価格保証制度も採用。
- 24 ○農林省、38年度農業および農家の社会勘定を公表、総生産実質で3%減、兼業所得の増加めだつ。  
○第4回定例道議会閉会。
- 25 ○農林省、39年産米陸稲収穫量（実収量）を公表、全国1,258万トン、前年に比べ23万トン減、本道59万1,200トン、前年に比べ27万6,500トン減。
- 26 ○道総務部、39年道内自然災害（大火も含む）の被害概況をまとめる、被害額704億1,500万円（昨年の10倍）
- 28 ○政府、明年度予算政府案決まる、一般会計3兆6,580億円（本年度に比べ12.4%増）、財投1兆6,206億円（本年度に比べ20.9%の伸び）。  
○自治省、40年度地方債計画の内容を公表、総額4,849億円（本年度に比べ21%増）。
- 29 ○イタリア第5代大統領にジュゼツペ・サラガツト外相（社民党）を選出。  
○道開発庁、明年度開発予算の概算額をまとめ発表、総額945億3,354万1,000円（本年度に比べ16.6%増）。

昭和40年 1 月 20 日 発行

北 海 道 議 会 時 報 (第 17 卷)  
(第 1 号)

編 集 北海道議会事務局調査課

発 行 北 海 道 議 会 事 務 局